

2022年8月7日（日）

# PTA進路対策研修会資料

難関大学合格に向けて～近年の大学入試状況と求められる力

## 盛岡第一高等学校

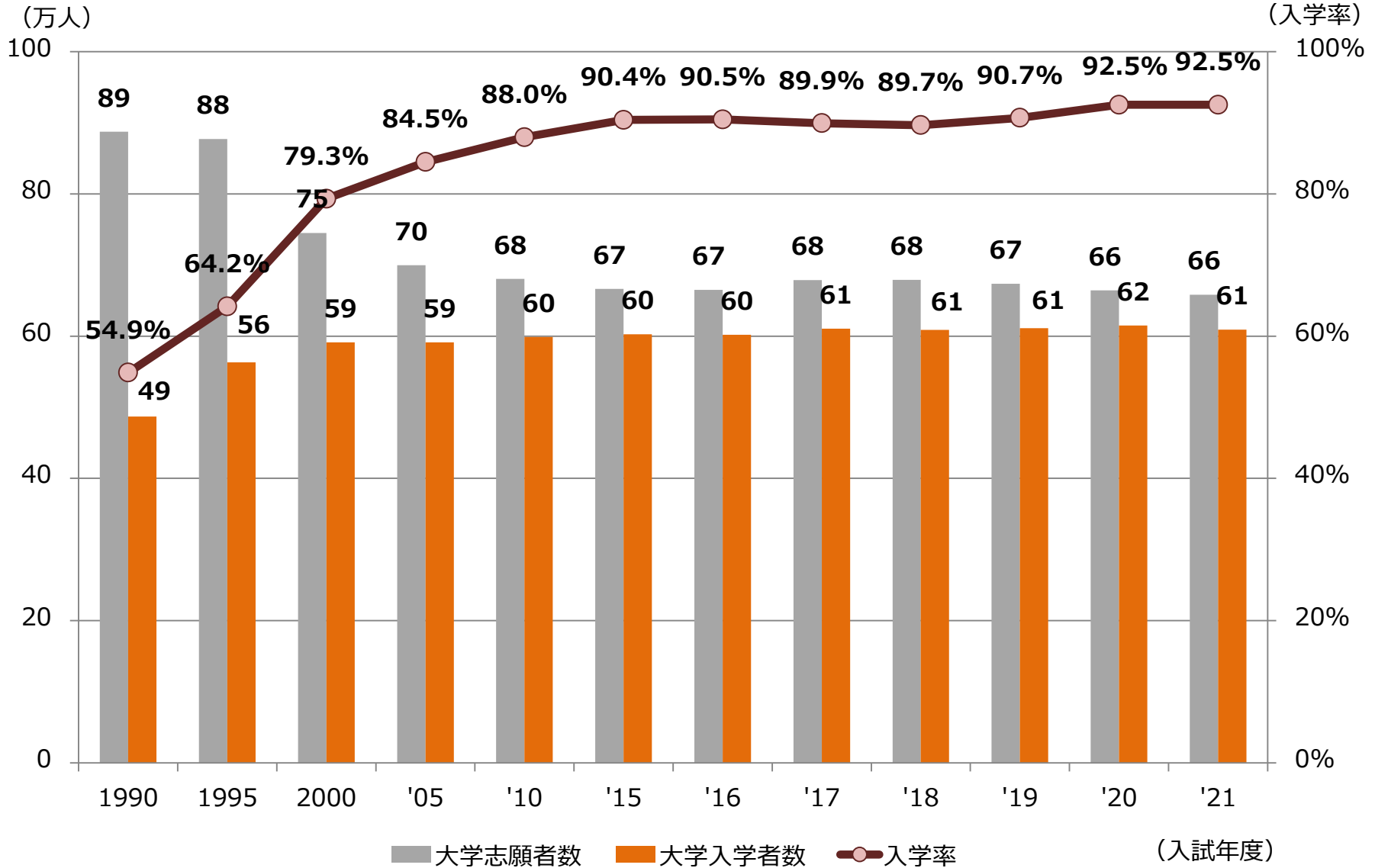
### 保護者の方対象

ひとつ上が、見えてくる。

**河合塾**



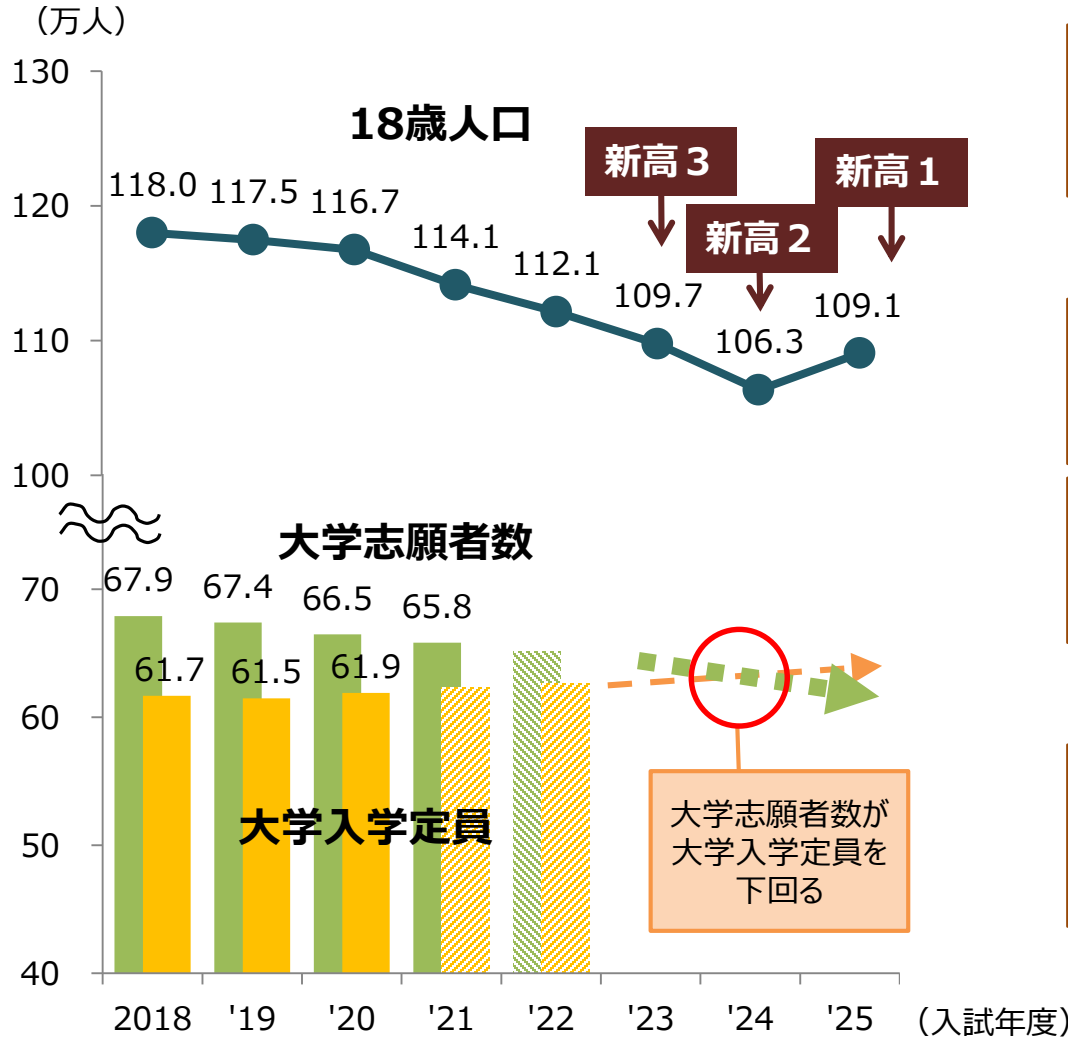
# 大学志願者数と入学者数の関係



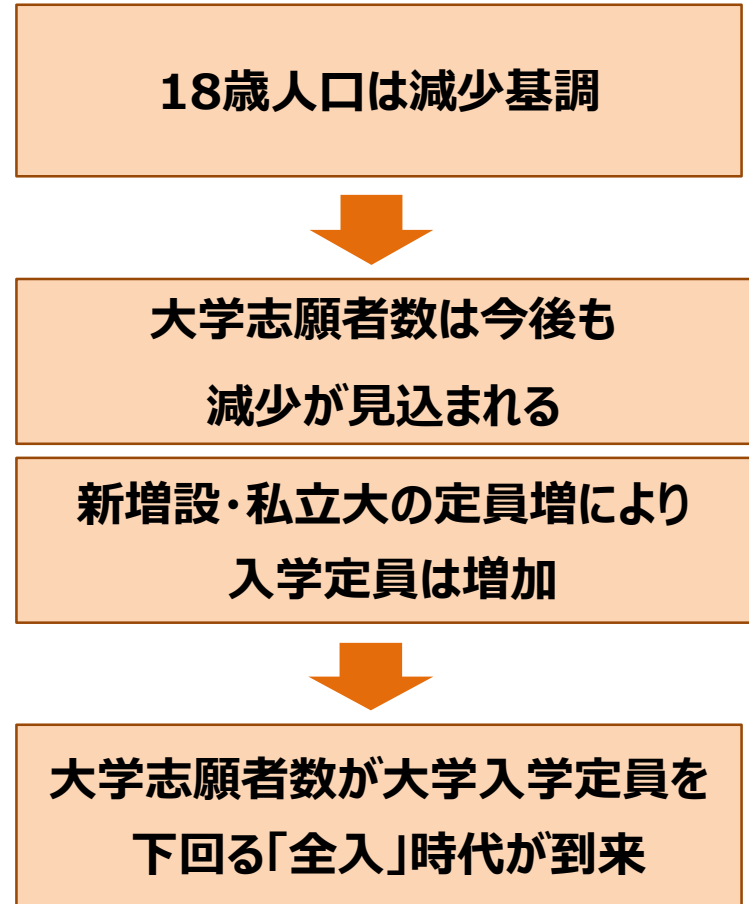
※文部科学省「学校基本調査」より

# 受験人口減により大学志願者は減少期に

## ● 18歳人口・大学志願者数の推移



※学校基本調査、全国大学一覧より (斜線の年度は河合塾の推定)



## 現役生中心の入試に変化—競争緩和により既卒生割合が低下

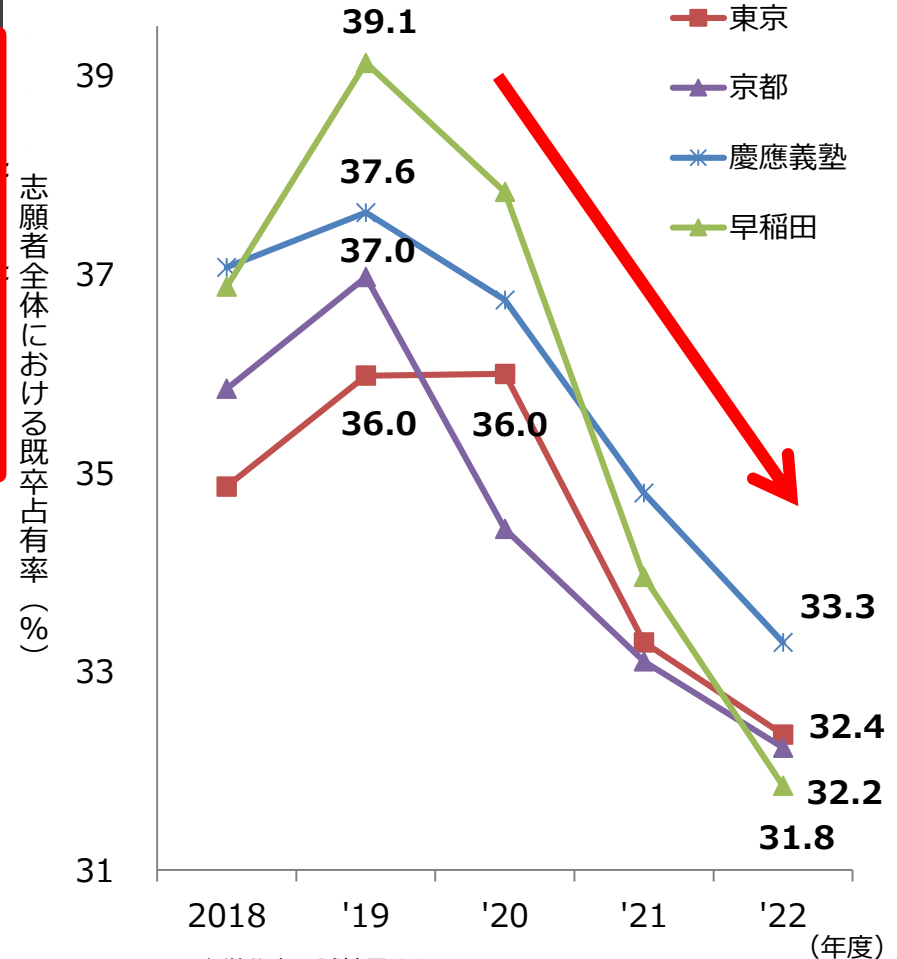
### ● センター試験・共通テスト 既卒生割合の推移

年度	志願者数			2003年を100 とした指数		
	全体	現役生	既卒生	全体	現役生	既卒生
2003	602,887	438,015	157,812	100	100	100
'13	573,344	459,866	107,709	95	105	68
'20	557,699	452,235	100,376	93	103	64
'21	535,245	449,795	81,007	89	103	51
'22	530,367	449,369	76,785	88	103	49

※大学入試センター資料より

- 20年前の2003年度のセンター試験時の志願者数を100として推移をみると、2022年度は全体では約1割減となったが、現役生志願者はむしろ増加している。一方、既卒生は半数以下になっている。
- 難関大志願者の既卒生割合も近年目に見えて減少している。国私の難関大における既卒生の割合は2019年度には3割台後半だったが、2022年度には3割台前半までダウンした。

### ● 難関大 既卒生志願者の割合の推移



※大学公表入試結果より

## 国公立大 一般入試の仕組み

大学入学共通テスト  
(1月中旬土日)

+

2次試験 (個別学力検査)  
(前期 2/25~後期 3/12~)



合否  
判定

\* 共通テスト：高等学校段階における基礎学力の達成の判定する試験、センター試験より  
思考力判断力表現力を一層重視

\* 必要な科目や配点は大学ごとに異なる。難関大は2次配点が高い

## 私立大 入試の仕組み

- 入試科目・問題は大学ごとに異なる。教科数は2～3教科が一般的  
《文系》英・国・地歴or公民or数 《理系》英・数・理 から2～3が多い
- 複数の入試方式が設定されていることが多い
  - ・ 2教科型・3教科型・得意科目重視型 e t c
- 受験生が受験しやすいような工夫・配慮が盛りだくさん
  - ・ 入試日の複数化 ・各都市に試験会場設置 ・複数受験で受験料割引
- 現在、大学入学共通テスト試験利用方式 (9割近くが実施)
  - ・ 共通テストのみの成績で合否が決まるのが主流

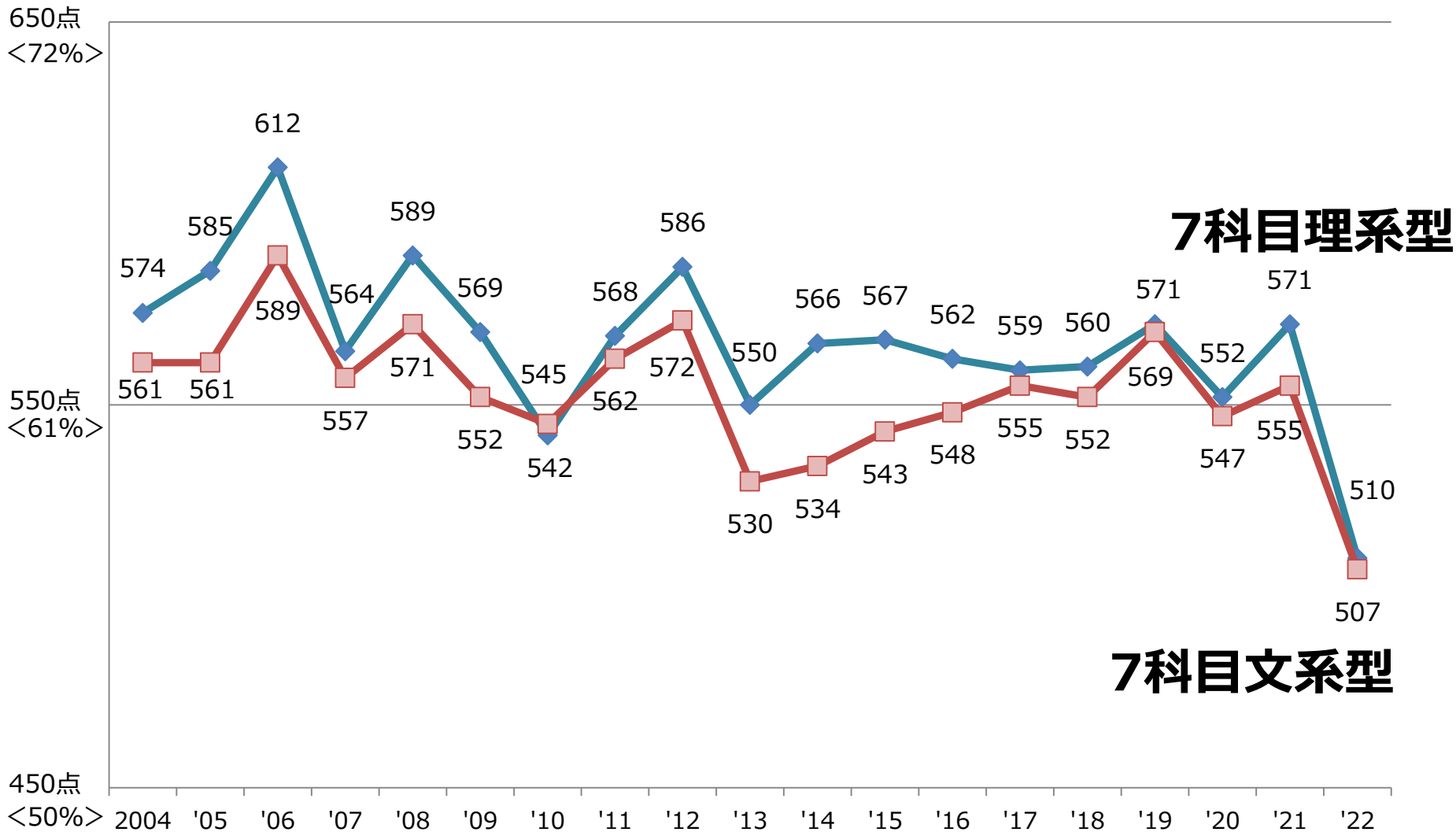
# 大学入学共通テストと2次試験の配点比（2022年度入試）

## 共通テストと2次試験の配点比（前期日程）（2022年度入試）

大学・学部		英語	数学	国語	理科	地歴公民	小論：総合 面接	主体：活動調 査書等	計	総計
岩手大	共通テスト	200	100	200	100	200			800	1400
人文社会科学	2次	*300	*300	*300					600	
岩手大	共通テスト	200	200	200	200	100			900	1530
理工：物理材料理工	2次		300		300			自己評価30	630	
弘前大	共通テスト	200	200	200	300	100			1000	1500
医：医	2次						総合300面接200		500	
秋田大	共通テスト	100	100	100	200	50			550	950
医一医	2次	100	100				面接200		400	
東北大	共通テスト	100	100	100	100	200			600	1600
文	2次	400	200	400					1000	
東北大	共通テスト	100	100	100	50	100			450	1350
法	2次	300	300	300					900	
東北大	共通テスト	100	100	100	100	50			450	1250
理、工	2次	200	300		300				800	
東北大	共通テスト	50	50	50	50	50			250	1200
医	2次	250	250		250		面接200		950	
東京大	共通テスト	200	200	200	100	100			*110	550
文類	2次	120	80	120		120			440	
東京大	共通テスト	200	200	200	200	100			*110	550
理類	2次	120	120	80	120				440	

\*東京大は900点満点を110点に縮めて合否を決める

# 共通テスト・センター試験 7科目型平均点の推移



※ 7科目理系型：外・数2・国・理2・地公1 7科目文系型：外・数2・国・理1・地公2  
 ※ 平均点は大学入試センター発表の各科目平均点をもとに河合塾が推定

(年度)

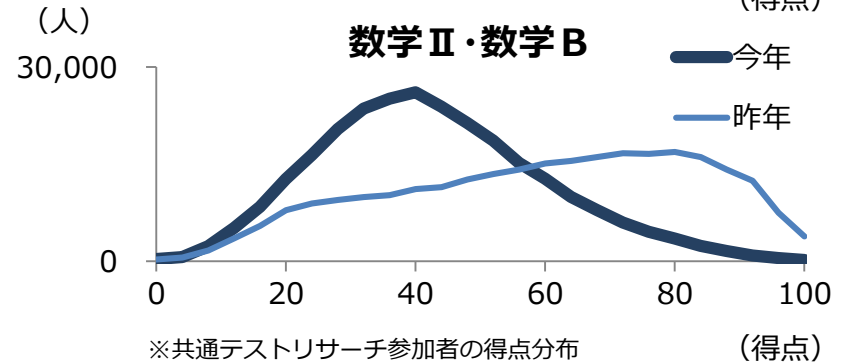
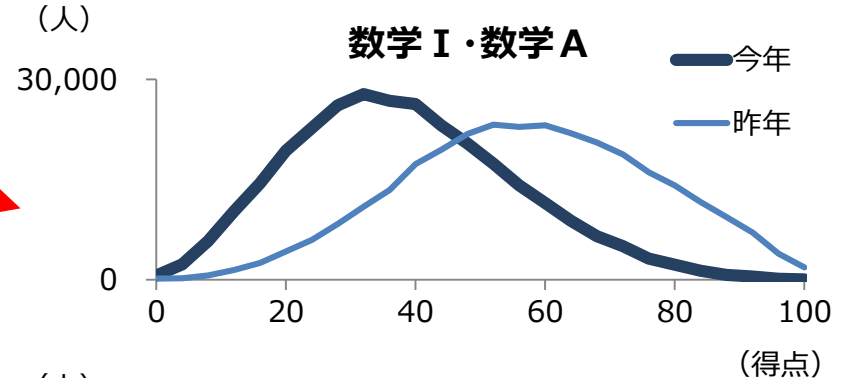
# 共通テスト 主要科目・総合型平均点

## 共通テスト 主要科目平均点

教科・科目		昨年	今年	差	
英語 リーディング (R)		58.8	61.8	+3.0	
英語 リスニング (L)		56.2	59.5	+3.3	
数 学	数学Ⅰ・数学A	57.7	38.0	-19.7	
	数学Ⅱ・数学B	59.9	43.1	-16.9	
国語		117.5	110.3	-7.3	
理 科	①	物理基礎	37.6	30.4	-7.2
		化学基礎	24.7	27.7	+3.1
		生物基礎	29.2	23.9	-5.3
		地学基礎	33.5	35.5	+2.0
	②	物理	62.4	60.7	-1.6
		化学	57.6	47.6	-10.0
		生物	72.6	48.8	-23.8
地学		46.7	52.7	+6.1	
地 歴 ・ 公 民	世界史B	63.5	65.8	+2.3	
	日本史B	64.3	52.8	-11.5	
	地理B	60.1	59.0	-1.1	
	倫理,政治・経済	69.3	69.7	+0.5	
	現代社会	58.4	60.8	+2.4	
	倫理	72.0	63.3	-8.7	
政治・経済		57.0	56.8	-0.3	

※大学入試センター資料より、昨年の平均点は第1日程（得点調整後）のもの

## 共通テストリサーチ参加者の得点分布



※共通テストリサーチ参加者の得点分布

## 7科目型平均点（河合塾推定）

	昨年	今年	差
7科目文系型	555点	507点	-48点 (-5.3%)
7科目理系型	571点	510点	-61点 (-6.8%)

※7科目文系型：英・数(2)・国・理(1)・地公(2) (900点満点)

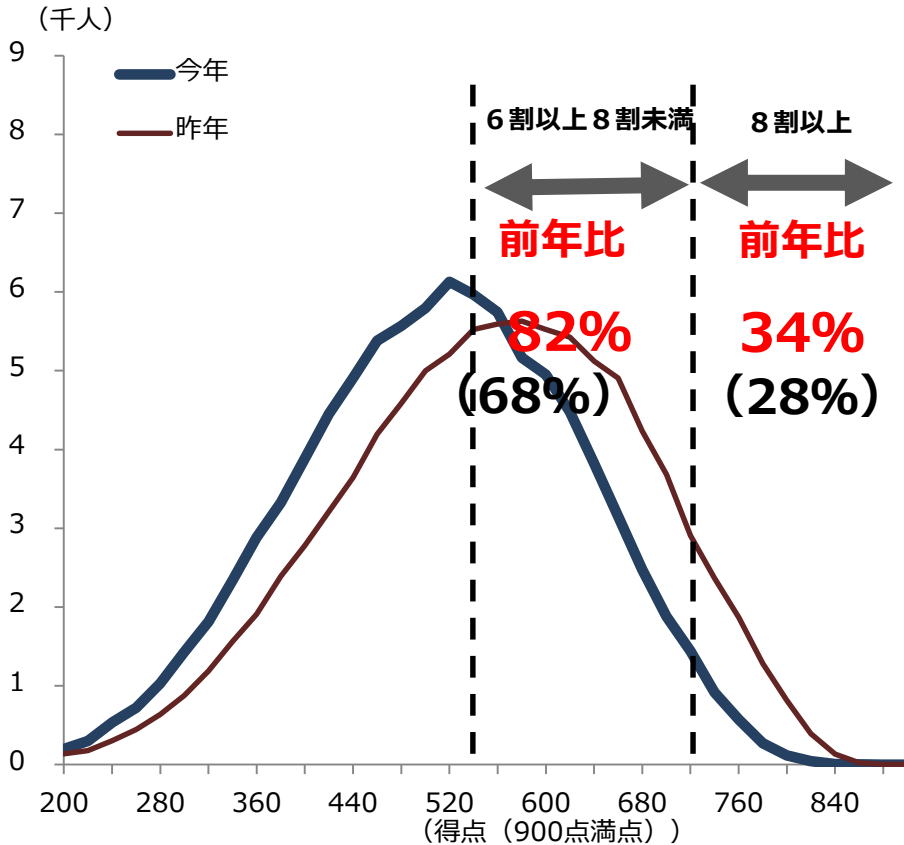
7科目理系型：英・数(2)・国・理(2)・地公(1) (900点満点)

\*理科の基礎を付した科目は2科目で1科目とする

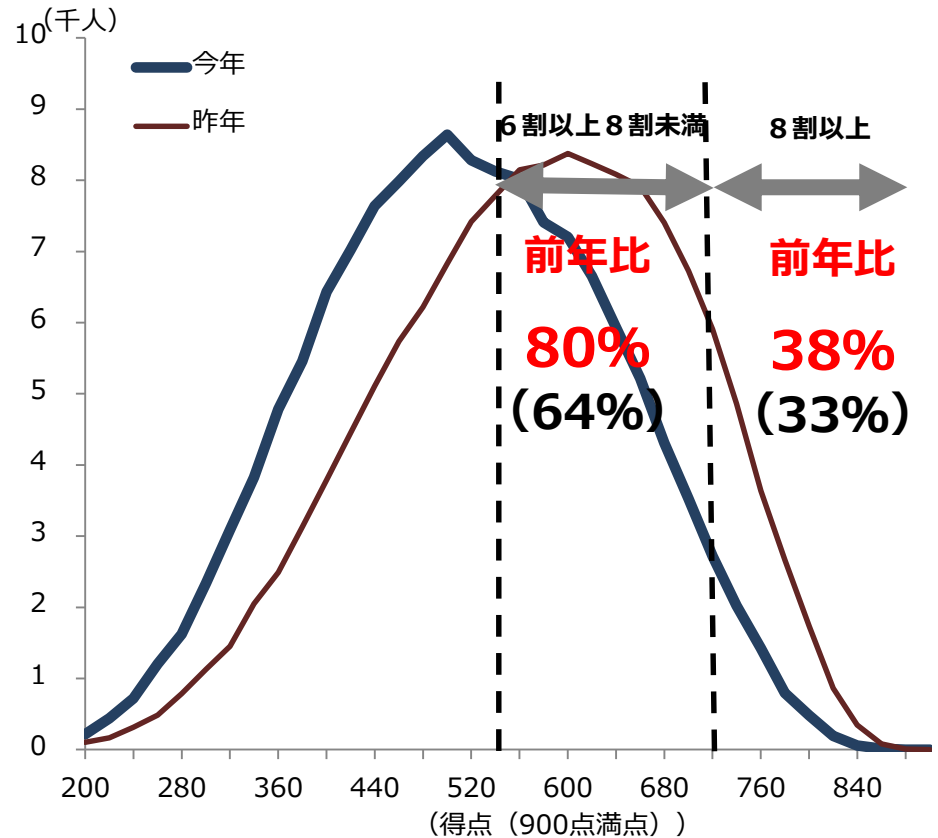


# 共通テスト 7科目受験者の得点分布

## < 7科目文系型 >



## < 7科目理系型 >



●平均点

昨564.3点 → 今519.7点  
(-44.6点： -5.0%)

●人数

昨93,774人 → 今91,864人  
(-1,910人： 前年比98%)

●平均点

昨581.0点 → 今523.2点  
(-57.8点： -6.4%)

●人数

昨142,719人 → 今142,309人  
(-410人： 前年比100%)

※共通テストリサーチ参加者の得点分布・平均点  
※昨年の得点分布は得点調整後のもの

## 2022年度共通テスト 出題の特徴

- 「学習の過程および日常の事象を意識した出題設定」は継続。
  - 会話文や複数資料の読み取り考察するだけでなく、**新しい問い方で正しく理解しているか、解答の方針を立てることができるかを測る問題が出題された**
  - 理科、地歴などで、選択肢に「誤りを含むものはない」「両方とも当てはまらない」が含まれている設問、**正解の数と組み合わせが異なる** 選択肢から正しいものを選ぶ問題、連動型問題（連続した設問で最初の設問の解答により、次の設問の解答が変わる問題）など**新しい形式の問題**が出題された。また、理科では計算し、**数値を直接マーク**する形式が出題された
  - 一方、従来のセンター試験と同様の問題も出題され、学力の土台となる知識・技能の習得、鍛錬も必要な出題がみられた
- ・特に、数学はⅠ・A、Ⅱ・Bともに難化
- 数学Ⅰ・A：目新しい問題が多く解法の方針を立てるところで躓いた  
単元をまたいだ融合問題が出題され高い思考力を必要とされた
- 数学Ⅱ・B：問題文が長くなり（行数で去年の1.4倍）読解に時間がかかった  
数学的な問題解決の過程を重視した問題が多かった

正確な知識・技能及び読解力を土台とする活用力（初見の問題に対応する力）とスピードがより求められる

# 国公立大の志願状況(全体概況)

## 国公立大志願者数の変化

### ■全体概況

	2021年度	2022年度	前年差	前年比
前期日程	235,408	234,554	-854	100%
後期日程	160,920	163,410	+2,490	102%
中期日程	29,090	31,380	+2,290	108%

### ■国立・公立別(前期日程)

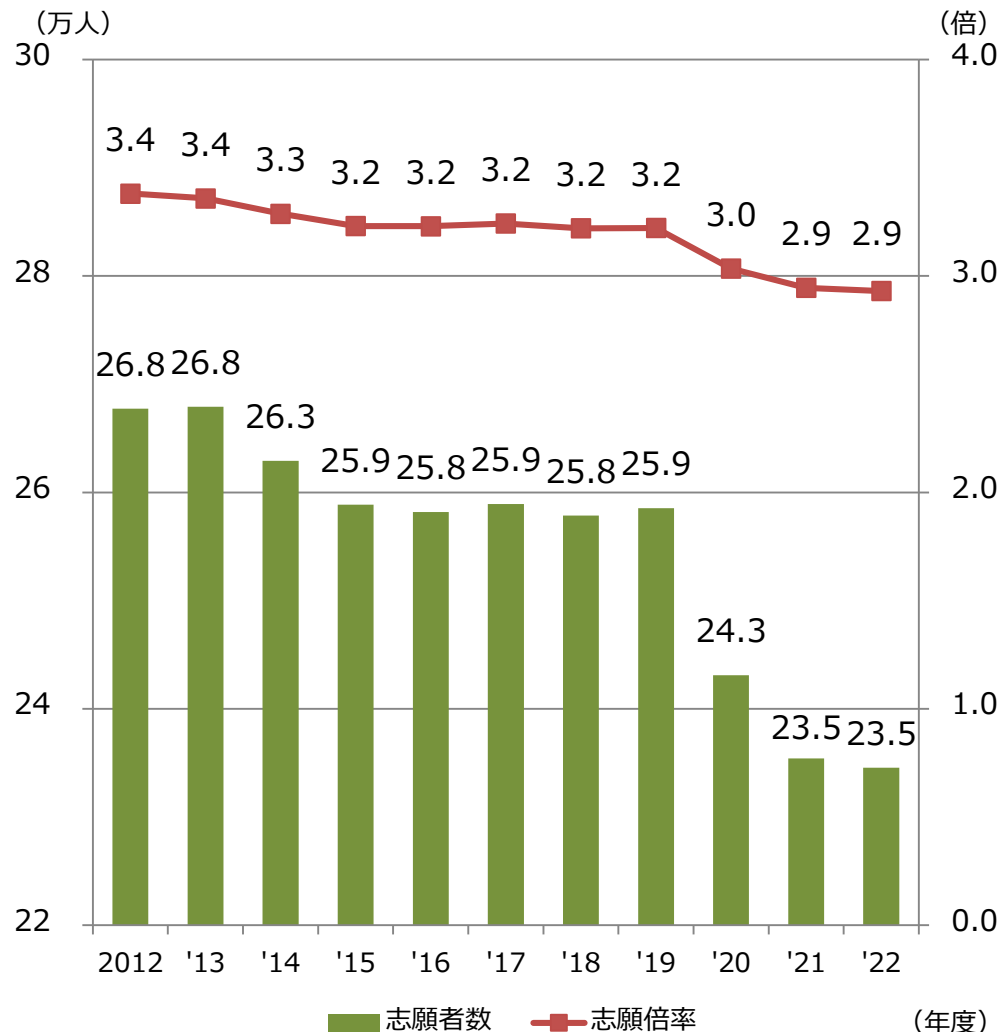
	2021年度	2022年度	前年差	前年比
国立大学	177,182	179,317	+2,135	101%
公立大学	58,226	55,237	-2,989	95%

### ■地区別(前期日程)

	2021年度	2022年度	前年差	前年比
北海道	11,552	11,559	+7	100%
東北	18,381	18,560	+179	101%
関東・甲信越	69,625	70,369	+744	101%
北陸・東海	32,339	31,453	-886	97%
近畿	39,520	40,086	+566	101%
中国・四国	32,515	31,366	-1,149	96%
九州	31,476	31,161	-315	99%

※2/22現在、河合塾調べ

## 前期日程志願者数・倍率の推移



※河合塾調べ、倍率は志願倍率(志願者数/募集人員)

# 国公立大入試のトピックー隔年現象が顕著

## 志願者数の変動が大きかった大学

### ●志願者増加大学（学部）

大学（学部）	日程	志願者数		前年比		倍率（志/合）	
		2022（増加数）		21/20	22/21	2021	2022
1 大阪公立（工）	中	6,200	(+1,543)	92%	133%	6.4	8.1
2 横浜国立（理工）	後	1,938	(+941)	45%	194%	2.6	6.1
3 山梨（医）	後	1,658	(+522)	98%	146%	10.2	14.8
4 岐阜（工）	後	1,840	(+496)	92%	137%	5.4	8.1
5 横浜国立（経営）	後	974	(+493)	54%	202%	2.4	7.4
6 横浜国立（理工）	前	1,085	(+460)	50%	174%	1.4	2.7
7 奈良県医（医）	後	1,311	(+423)	92%	148%	13.3	21.9
8 横浜国立（経済）	後	946	(+405)	48%	175%	2.8	7.7
9 鳥取（地域）	後	765	(+405)	101%	213%	7.7	17.8
10 弘前（理工）	後	778	(+403)	64%	207%	4.2	7.8
11 岩手県立（総合政策）	後	468	(+363)	40%	446%	4.0	17.3
12 高知（理工）	前	628	(+358)	69%	233%	1.6	3.5
13 長崎県立（地域創造）	後	826	(+355)	91%	175%	6.1	9.1
14 公立諏訪東京理科（工）	中	1,607	(+354)	72%	128%	8.7	14.2
15 横浜国立（経営）	前	719	(+348)	139%	194%	1.6	3.6

※河合塾調べ

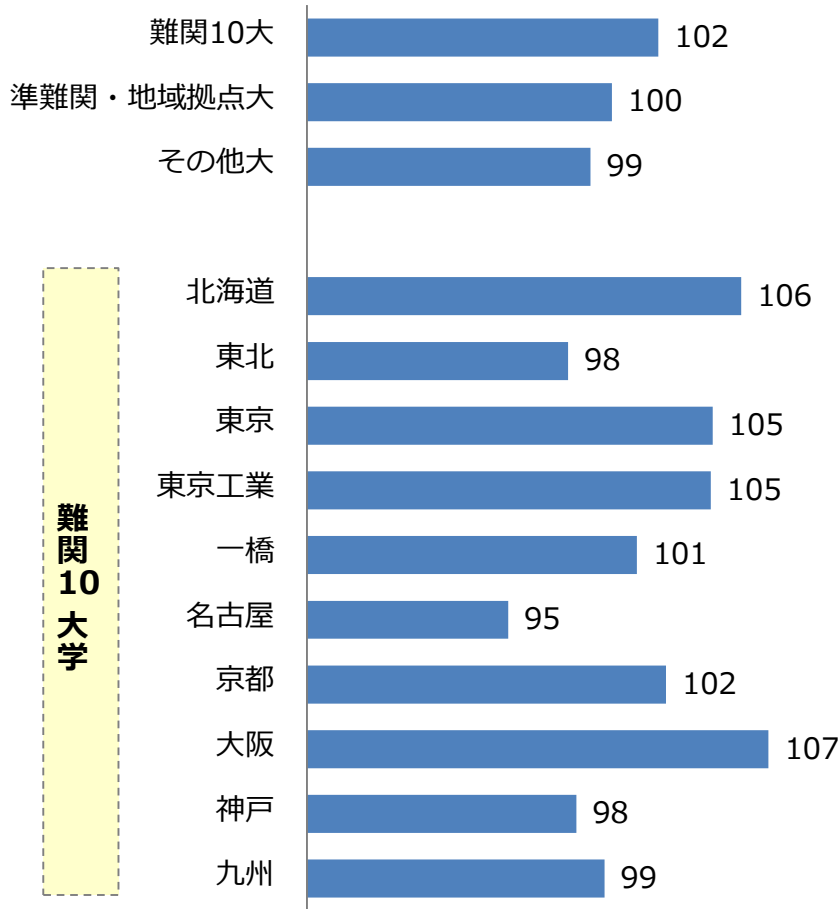
### ●志願者減少大学（学部）

大学（学部）	日程	志願者数		前年比		倍率（志/合）	
		2022（減少数）		21/20	22/21	2021	2022
1 山口（工）	前	493	(-784)	174%	39%	3.3	1.3
2 岐阜（医）	後	611	(-715)	164%	46%	26.0	19.1
3 山口（工）	後	496	(-667)	192%	43%	9.7	4.0
4 高崎経済（地域政策）	後	767	(-598)	130%	56%	7.9	4.6
5 下関市立（経済）	中	1,989	(-491)	77%	80%	5.8	4.5
6 三重（教育）	前	383	(-489)	157%	44%	5.2	2.3
7 島根（法文）	後	288	(-459)	122%	39%	14.4	5.5
8 下関市立（経済）	前	481	(-425)	143%	53%	4.3	2.3
9 富山（工）	後	510	(-422)	250%	55%	11.9	8.2
10 高崎経済（地域政策）	前	625	(-411)	88%	60%	3.5	2.1
11 千葉（法政経）	後	743	(-408)	131%	65%	11.9	8.2
12 県立広島（地域創生）	後	212	(-382)	354%	36%	16.5	6.1
13 富山（医）	後	124	(-371)	127%	25%	14.6	8.3
14 静岡県立（薬）	中	744	(-366)	149%	67%	7.6	5.6
15 兵庫県立（工）	後	838	(-363)	113%	70%	4.6	3.4

- 増加大・減少大ともに前年の反動がみられる。増加大に複数学部が登場する横浜国立大は、昨年2次を実施しなかった。志願者減・合格者増で低倍率となっていたため、今春は志願者増につながった。すでに後期を実施する大学が少なくなっている医学科では、岐阜大で減少した分、山梨大、奈良県立医科大で増加した。前年低倍率の大学には、リサーチ後に大勢が流入する様子がみられる。

# 難関国立大の状況 一強気の出願で難関大で志願者増

## 難関大の志願動向



## 2022年度の主な入試変更点

- **北海道大**
  - ・一般選抜(前期)の募集人員減  
総合入試理系: 1,017→984名  
医(保健): 142→136名 など
  - ・医(保健): 後期日程廃止
- **東北大**
  - ・第1段階選抜の倍率変更  
文: 4倍→3.5倍  
経済-前(文系): 4倍→3.5倍  
工: 3.5倍→3倍 など
- **一橋大**
  - ・前期日程の2次試験で公民・ビジネス基礎の出題を取りやめ
- **名古屋大**
  - ・農: 2次国語増(4教科5科目)
  - ・医(医-前): 2段階選抜実施(700/900点)
- **京都大**
  - ・医(医): 第1段階選抜の基準変更  
3倍→630/900点かつ3倍
- **大阪大**
  - ・基礎工: 第1段階選抜の倍率変更(3倍→2.9倍)
- **神戸大**
  - ・工(市民工): 一般選抜の募集人員変更  
(前: 46→49名、後: 15→12名)
- **九州大**
  - ・歯: 一般選抜(前期)の募集人員減(45→37名)

※河合塾調べ、前期日程で集計  
 ※グラフ内の数値は志願者前年比(%)  
 ※準難関・地域拠点大は筑波大、千葉大、東京都立大、横浜国立大、新潟大、金沢大、大阪公立大、岡山大学、広島大、熊本大

## 国公立大入試のトピックー「初志貫徹率」の上昇

### ● リサーチ→本番入試 「初志貫徹組」の出願率と合格率の変化

	リサーチ時 国公立大 志望者数	初志貫徹組			
		出願者数	(貫徹率)	合格者数	(合格率)
2018	211,002	86,728	(41.1%)	31,518	(36.3%)
'19	209,890	85,923	(40.9%)	31,329	(36.5%)
'20	201,054	80,210	(39.9%)	31,188	(38.9%)
'21	198,205	78,768	(39.7%)	31,597	(40.1%)
'22	195,315	82,305	(42.1%)	33,276	(40.4%)

※河合塾 入試結果調査データより、前期日程で集計

### ● 難関10大学の初志貫徹率 (2022年度)

大学	貫徹率 (前年差)	大学	貫徹率 (前年差)
北海道大	53.1% (+0.6)	名古屋大	51.0% (+2.0)
東北大	53.0% (+2.1)	京都大	63.0% (-1.7)
東京大	68.3% (-1.5)	大阪大	50.5% (+4.1)
東京工業大	64.5% (+2.9)	神戸大	42.8% (+3.2)
一橋大	69.0% (+2.5)	九州大	51.5% (+3.4)

※河合塾 入試結果調査データより、前期日程で集計

- 共通テストの平均点は大幅ダウンしたものの、国公立大への出願を手控える動きはなかった。リサーチ時に国公立大を志望し、そのまま同じ大学・学部へ出願した「初志貫徹組」の割合は上昇、過去5年間で最も高くなり、今年受験生の「強気の出願」が浮き彫りになった。
- 合格率も競争緩和を追い風に、年々上昇している。
- 難関10大学の初志貫徹率は国公立全体よりも高く、志望の意思が固い様子がわかる。

# 私立大の志願状況①(全体概況)

## 私立大志願者数の変化

### ■全体概況

	2021年度	2022年度	前年差	前年比
全体	2,626,064	2,673,903	+47,839	102%
一般方式	1,753,336	1,794,670	+41,334	102%
共通テスト方式	872,728	879,233	+6,505	101%

※数値は3/11現在河合塾調べ、私立176大学の集計  
 ※志願者数が未公表の入試方式は集計対象外

### ■大学グループ別

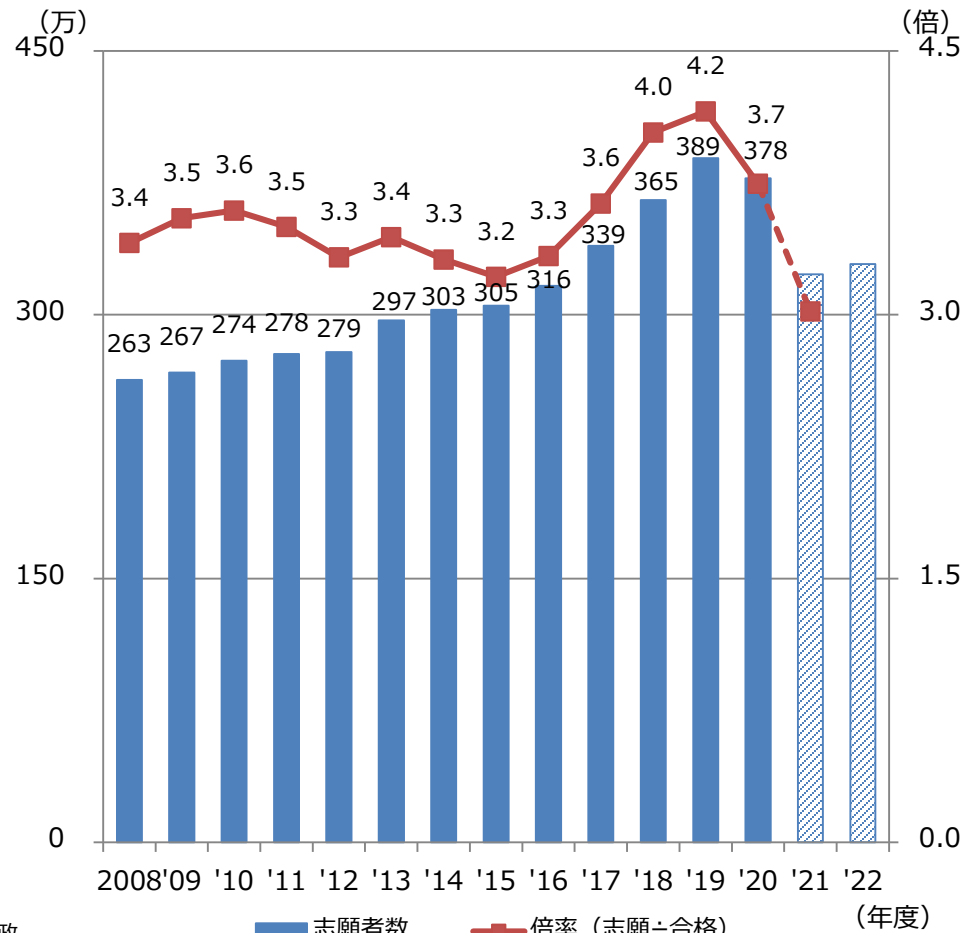
		2021年度	2022年度	前年差	前年比
首都圏	早慶上理	203,911	207,497	+3,586	102%
	MARCH	372,920	384,054	+11,134	103%
	成成明國武	85,264	91,711	+6,447	108%
	日東駒専	253,681	256,848	+3,167	101%
	理系10大学	262,334	292,754	+30,420	112%
	女子13大学	56,095	53,700	-2,395	96%
近畿圏	関関同立	230,815	239,684	+8,869	104%
	産近甲龍	225,785	245,503	+19,718	109%
北星学園・北海学園		9,029	9,660	+631	107%
東北学院		8,858	11,901	+3,043	134%
南山・愛知・中京・名城		102,966	108,680	+5,714	106%
西南学院・福岡		61,134	61,897	+763	101%

※数値は3/11現在河合塾調べ  
 ※志願者数が未公表の入試方式は集計対象外

#### (大学グループ)

早慶上理：早稲田・慶應義塾・上智・東京理科 MARCH：明治・青山学院・立教・中央・法政  
 日東駒専：日本・東洋・駒澤・専修 成成明國武：成蹊・成城・明治学院・國學院・武蔵  
 理系10大学：千葉工業・北里・工学院・芝浦工業・東京工科・東京電機・東京都市・東京農業・  
 麻布・神奈川工科  
 女子13大学：大妻女子・学習院女子・共立女子・白百合女子・実践女子・昭和女子・聖心女子・  
 清泉女子・津田塾・東京女子・東京家政・日本女子・フェリス女学院  
 関関同立：関西・関西学院・同志社・立命館 産近甲龍：京都産業・近畿・甲南・龍谷

## 私立大志願者数の推移



※文部科学省資料より

※グラフは私立大一般選抜最終志願者数・倍率の推移 (2021・22年度は推定)



## 私立大入試のトピックー成績層別合格率の変化①

合格しやすくなった状況を検証した。各大学グループの合格率を、受験者の全統模試における成績層で切り分けてみると、この5年間でほとんどの成績層で合格率はアップしている。3グループでは合格率50%以上の成績層が2022年度は1つ下にスライドしており、より競争緩和した様子が見える。

### 成績層別 合格率の推移（2018→2020→2022年度）

#### ● 早慶上理

受験者の 成績層	合格率			
	2018	2020	2022	(22-18)
65以上	50%	53%	58%	(+8%)
60～65未満	22%	23%	28%	(+6%)
55～60未満	11%	10%	13%	(+3%)
50～55未満	6%	3%	6%	(+1%)
45～50未満	4%	3%	3%	(-1%)
45未満	3%	2%	4%	(+1%)

#### ● 成成明國武

受験者の 成績層	合格率			
	2018	2020	2022	(22-18)
65以上	83%	78%	86%	(+4%)
60～65未満	71%	67%	79%	(+8%)
55～60未満	43%	41%	60%	(+17%)
50～55未満	20%	19%	36%	(+16%)
45～50未満	8%	6%	18%	(+10%)
45未満	3%	2%	7%	(+4%)

#### ● MARCH

受験者の 成績層	合格率			
	2018	2020	2022	(22-18)
65以上	72%	72%	75%	(+3%)
60～65未満	44%	49%	57%	(+13%)
55～60未満	20%	23%	33%	(+13%)
50～55未満	7%	7%	14%	(+7%)
45～50未満	3%	2%	5%	(+2%)
45未満	1%	1%	2%	(+1%)

#### ● 日東駒専

受験者の 成績層	合格率			
	2018	2020	2022	(22-18)
65以上	69%	82%	86%	(+17%)
60～65未満	73%	77%	85%	(+12%)
55～60未満	60%	59%	74%	(+14%)
50～55未満	36%	39%	56%	(+20%)
45～50未満	20%	23%	38%	(+18%)
45未満	11%	14%	22%	(+11%)

※河合塾入試結果調査データより

※早慶上理：早稲田・慶應義塾・上智・東京理科

MARCH：明治・青山学院・立教・中央・法政

成成明國武：成蹊・成城・明治学院・國學院・武蔵

日東駒専：日本・東洋・駒澤・専修



## 国公立大 データサイエンス系学部の新設

情報分野の人材需要高まりを背景に、近年、データサイエンス系学部の新設が続く。国公立大では、来春は一橋大、名古屋市立大が学部を新設予定。

### 一橋大

#### ソーシャル・データサイエンス学部

- 入学定員 60名（一般前期30名、後期25名）
- 社会科学の視点からデータサイエンス領域の新たな教育研究分野を確立することを目的に設置。データを用いて新たな社会経済課題を解決できる先導者の育成をめざす。
- 大学全体の入学定員は変わらず、既存学部では入学定員減となる。

#### 2023年度入学定員（カッコ内の数値は前年差）

商	258名 (-17名)	} 計60名減
経済	258名 (-17名)	
法	159名 (-11名)	
社会	220名 (-15名)	

### 名古屋市立大

#### データサイエンス学部

- 入学定員 80名
- 統計学、数学および情報科学の体系的な知識と技術を習得し、ビッグデータを科学的に分析・社会課題の解決に取り組む人材の育成をめざす。

#### 履修モデル

3つの履修モデルから、それぞれの分野に関連したデータサイエンスを学ぶ

##### IT系

統計や情報科学、情報処理技術、AIの基礎から応用を学び、IT関連企業だけでなく、製造業やサービス業など幅広い業界で、データの科学的分析に基づく調査・企画やシステム開発に関わる人材を養成します。



##### ビジネス系

ミクロ経済学、マクロ経済学、公共政策、経営学、マーケティング、ファイナンス等の基礎やデータとの関わりについて学び、ビジネスや公共政策などの分野で活躍できる人材を養成します。



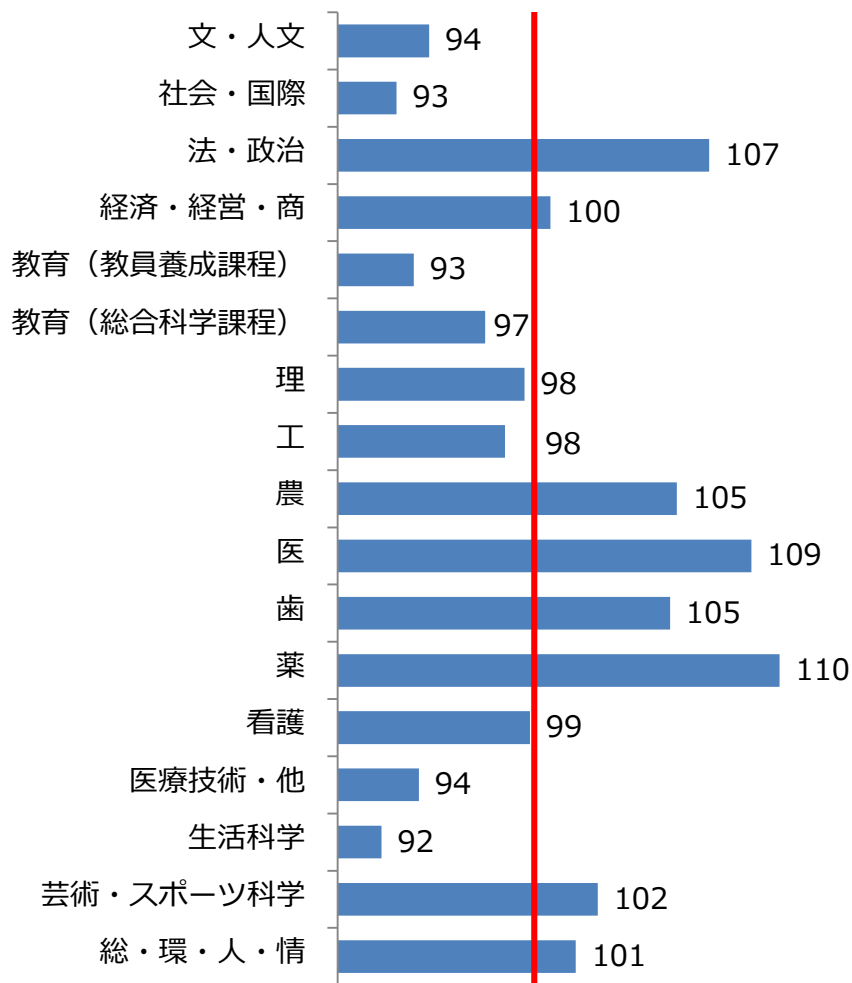
##### 医療系

保健・医療統計や公衆衛生、レギュラトリーサイエンスなど、データサイエンスと関わりの深い分野を学び、医療機関でのデータ管理や分析、医療行政に関わる人材を養成します。

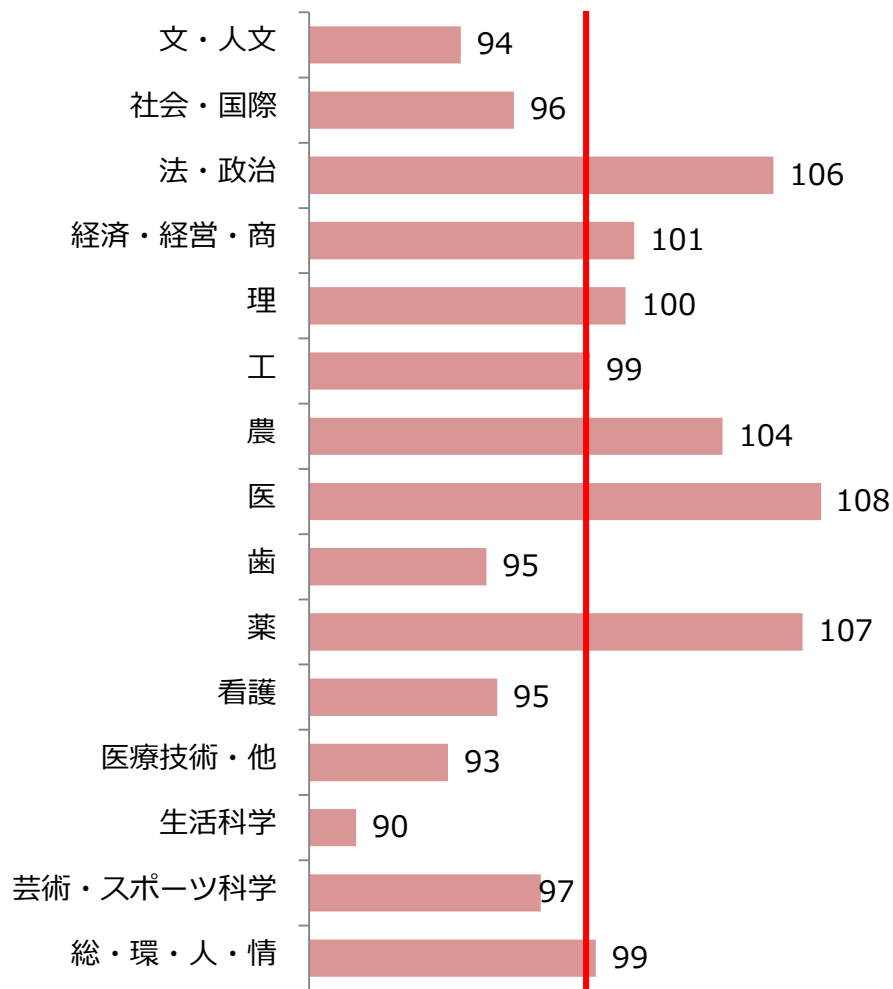


## 第1回全統共通テスト模試志望動向(学部系統別)

## ● 国公立大



## ● 私立大



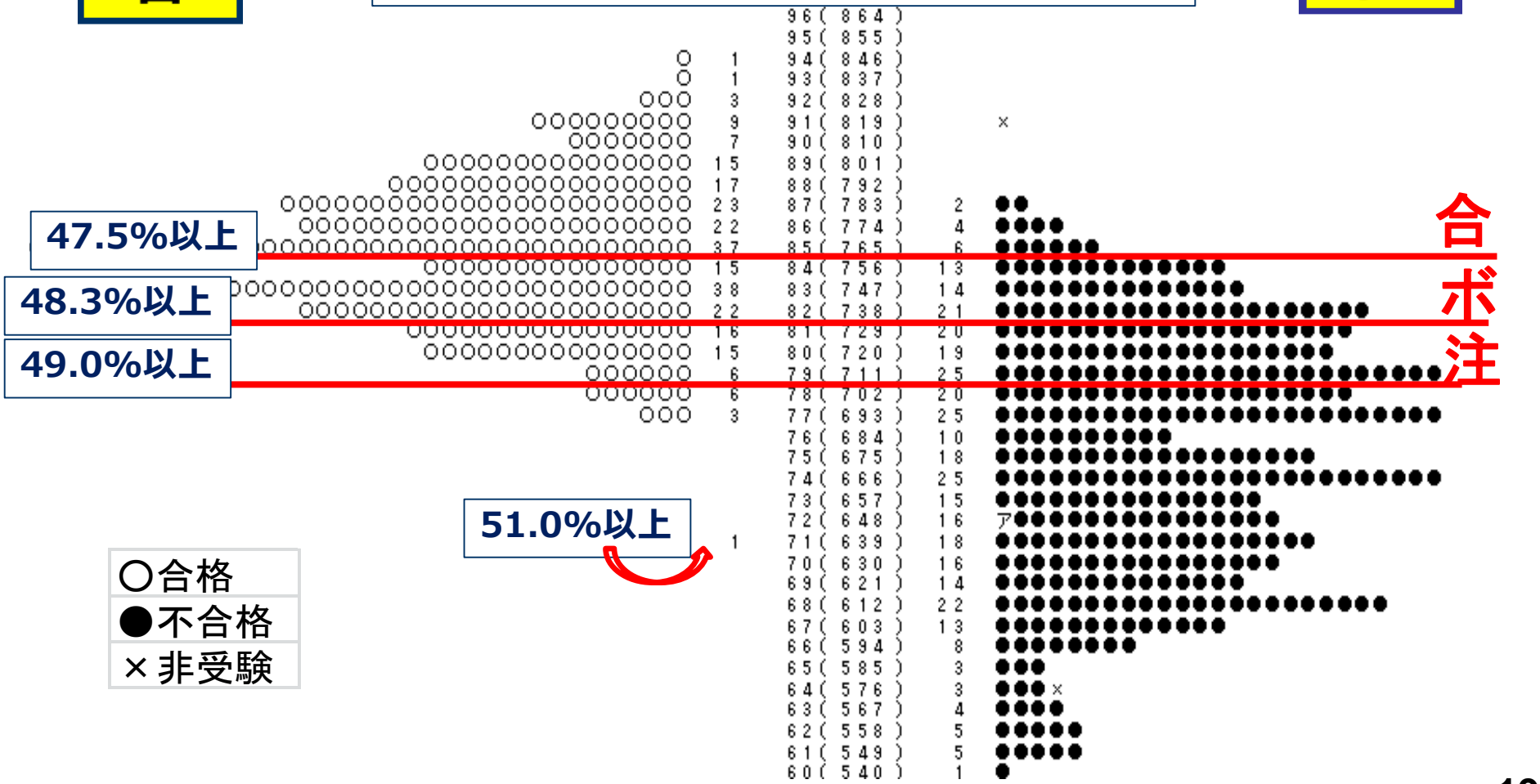
※国公立大は前期日程で集計  
 ※グラフ内の数値は志望者前年比 (%)

1120130001 東京大学 文科一類 前期 (定員 401人)  
 共通テ 110 【英※L、数AB、国】 《理基》《地歴B2、倫政⇒2》 #総点は900点を110点に換算#  
 二次 440 【英※L、数ⅡB、国】 《地歴B2》  
 合格者数 257人 不合格者数 374人  
 平均点<%> 85.0 平均点<%> 74.9

**合**

**最低点 302.6/550(55.1%)**

**否**



1120480001 東京大学 理科二類 前期 (定員 532人)  
 共通テ 110 【英※L、数A B、国】《理2》《地歴B、倫政⇒1》#総点は900点を110点に換算#英の配点はR:L  
 二次 440 【英※L、数ⅢB、国】《理2》  
 合格者数 349人 不合格者数 796人  
 平均点<%> 84.8 平均点<%> 78.4

**合**

**最低点287.4/550(52.2%)**

**否**

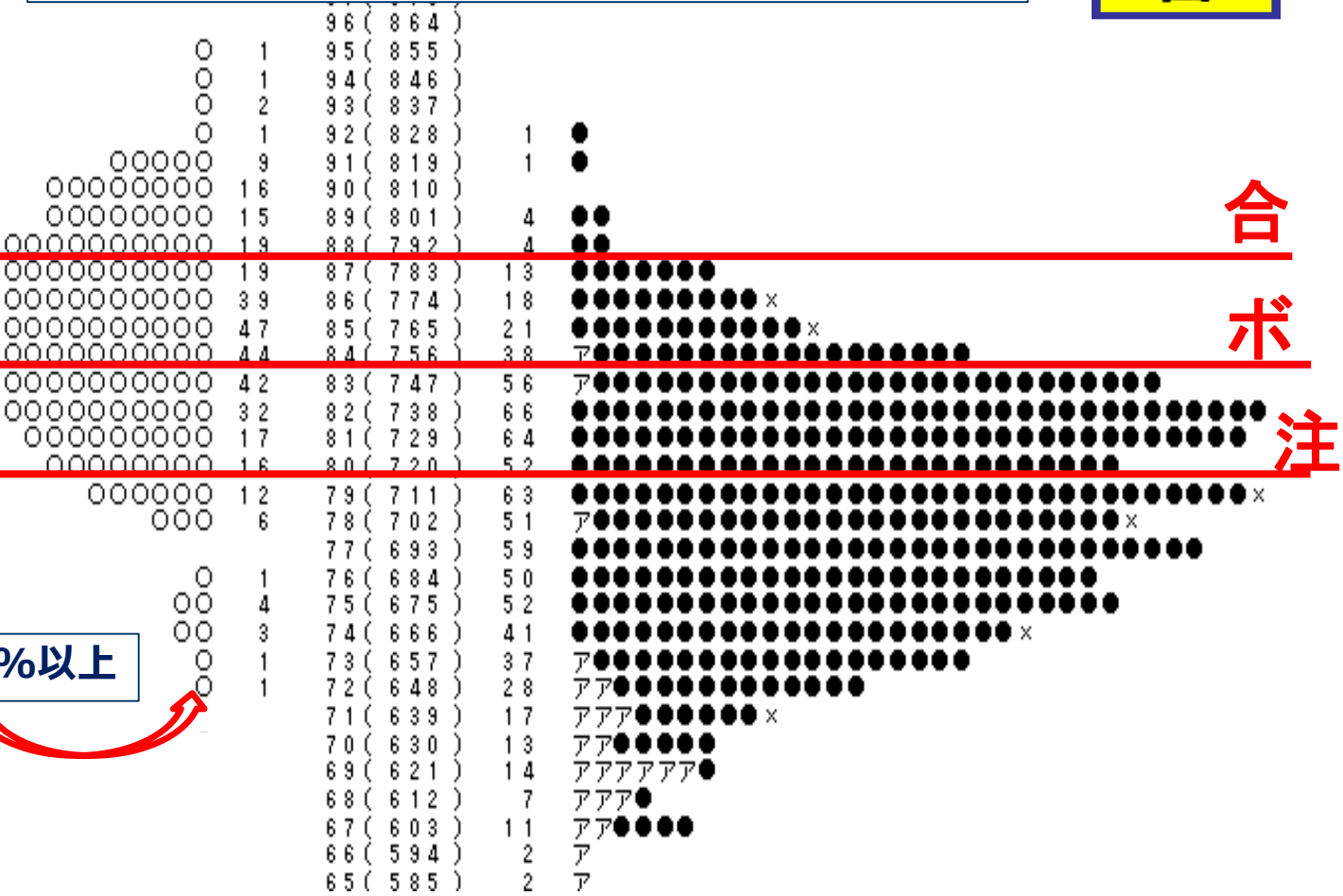
43.3%以上

44.3%以上

45.3%以上

47.3%以上

- 合格
- 不合格
- ×非受験



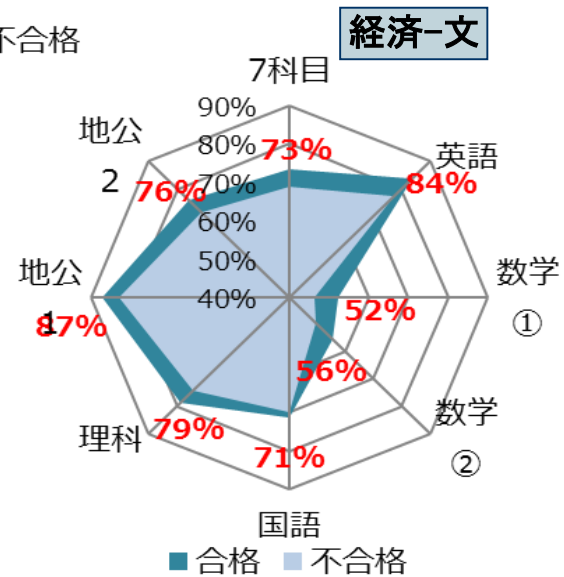
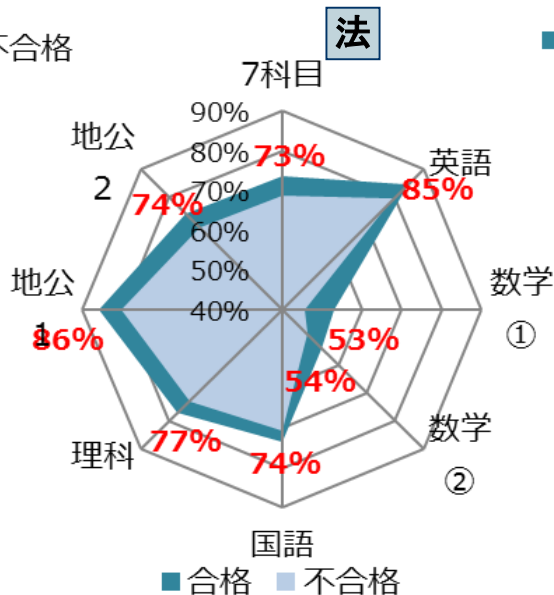
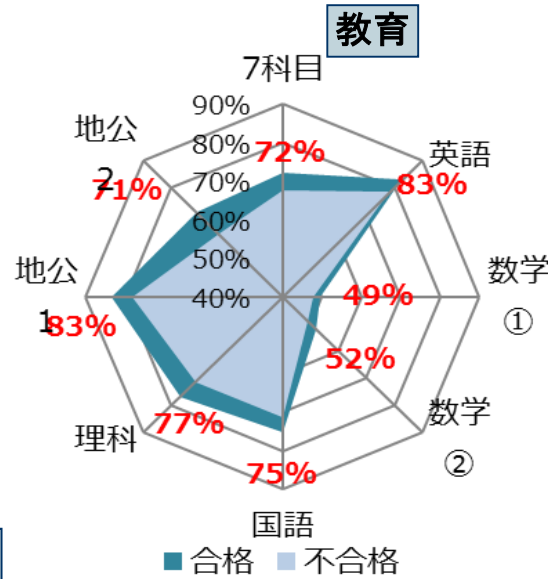
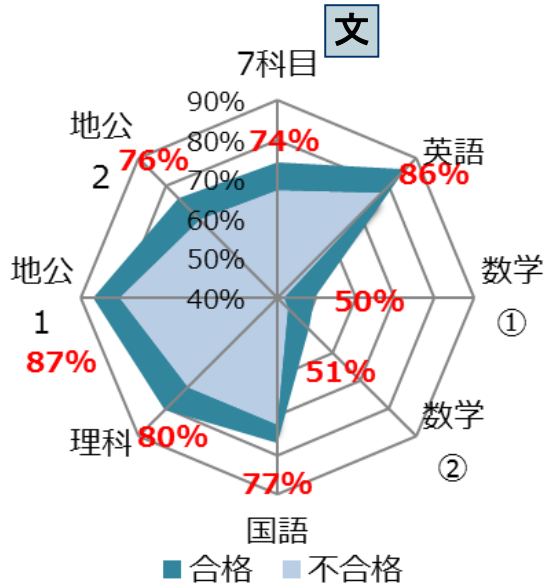
合  
ボ  
注



東北大学 前期試験 合格者の平均点及び平均得点率

	2022	総合点			共通テスト			2次試験							
	定員	配点	2022		配点	2022	2021	配点	2022	2021	2020	2019	2018		
文学部	147	1600	1064.37	66.5%	600	455.36	75.9%	80.1%	1000	609.01	60.9%	58.1%	59.4%	56.7%	58.8%
教育学部	49	1250	798.98	63.9%	450	325.92	72.4%	78.6%	800	473.05	59.1%	55.7%	58.1%	55.7%	57.7%
法学部	112	1350	877.69	65.0%	450	329.40	73.2%	80.4%	900	548.29	60.9%	59.3%	59.5%	56.1%	61.0%
経済-文	147	1550	1024.74	66.1%	650	491.75	75.7%	80.9%	900	532.98	59.2%	57.3%	56.7%	55.6%	59.4%
経済-理	10	1550	1009.96	65.2%	650	497.60	76.6%	80.3%	900	512.36	56.9%	55.4%	59.3%		
理学部	196	1250	800.34	64.0%	450	345.40	76.8%	82.4%	800	454.93	56.9%	58.2%	61.4%	58.9%	57.4%
医-医	77	1200	903.98	75.3%	250	202.72	81.1%	86.8%	950	701.26	73.8%	73.7%	77.1%	75.8%	72.3%
医-看護	50	1250	752.42	60.2%	500	322.71	64.5%	73.9%	750	429.70	57.3%	51.9%	54.3%	57.3%	62.9%
医-放射線	25	1250	752.30	60.2%	500	345.66	69.1%	75.7%	750	406.64	54.2%	55.8%	56.3%	60.3%	55.3%
医-検査	25	1250	757.77	60.6%	500	339.69	67.9%	75.0%	750	418.08	55.7%	55.3%	52.5%	60.1%	54.9%
歯学部	37	1300	723.28	55.6%	450	299.40	66.5%	76.2%	850	423.87	49.9%	52.9%	53.1%	53.9%	51.9%
薬学部	56	1550	930.66	60.0%	450	338.03	75.1%	80.9%	1100	592.62	53.9%	58.8%	59.8%	59.1%	59.6%
工学部	567	1250	783.91	62.7%	450	340.94	75.8%	82.1%	800	442.96	55.4%	58.5%	61.1%	60.8%	58.8%
農学部	105	1350	806.91	59.8%	450	329.29	73.2%	79.8%	900	477.61	53.1%	52.2%	55.5%	58.7%	53.0%

# 共通テスト教科別平均（前期・文系）

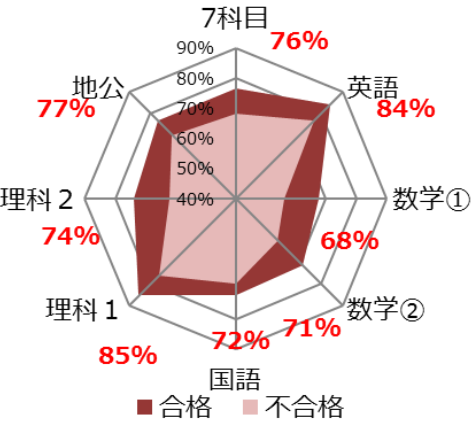


※河合塾「2022入試結果調査データ」より ※7科目は外・数・国・理・地公2の900点満点の得点率 ※地公1は地歴公民受験科目のうち得点の高い科目の平均、地公2はもう一方の科目の平均

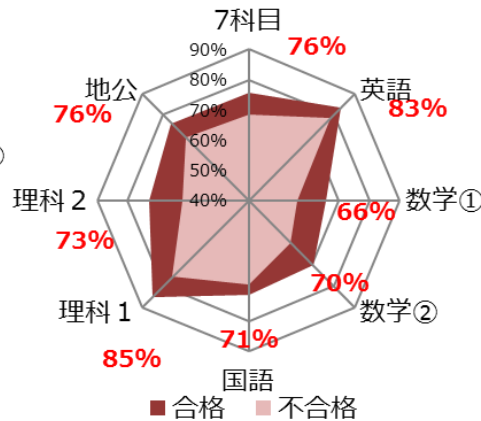


# 共通テスト教科別平均（前期・理系）

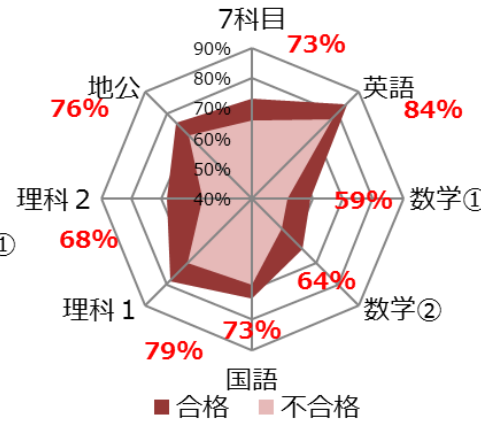
理



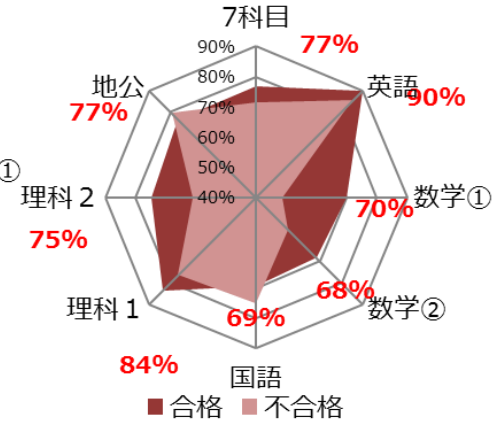
工



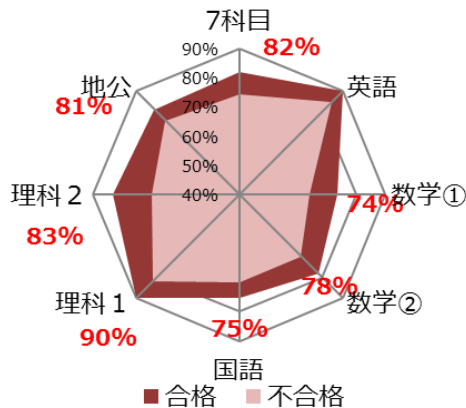
農



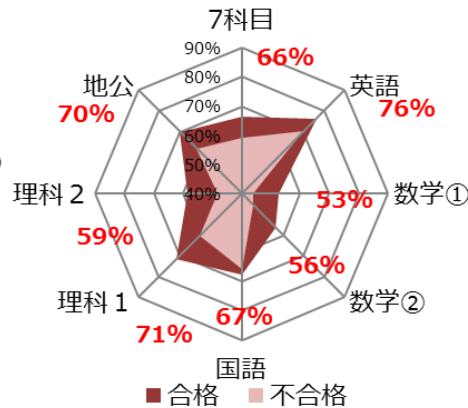
経済-理



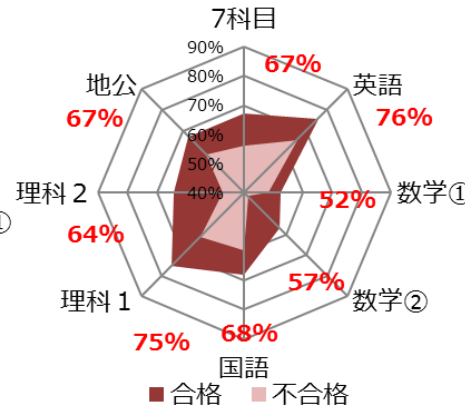
医(医)



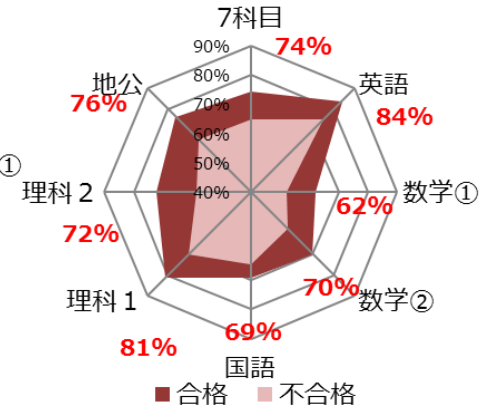
保健



歯



薬



※河合塾「2022入試結果調査データ」より ※7科目は外・数・国・理2・地公900点満点の得点率 ※理科1は理科受験科目のうち得点の高い科目の平均、理科2はもう一方の科目の平均



# 2022年度入試結果（東北大）

## 2022年度 東北大学合格者（前期）開示データ

学部学科	定員	大学公表データ		開示データ調査（判明分での2次試験下限得点）											
		2次試験		2次試験										共通テスト	総合
		配点	合格者 平均点 得点率	英語	数学	国語	物理	化学	生物	面接	合計				
		100	100	100	100	100	100	100	100	得点	得点率	900	順番		
文学部	147	1000	609.01 60.9%	60	38	60					556	55.6%	648	159	
教育学部	49	800	473.05 59.1%	57	48	59					444	55.5%	638	46	
法学部	112	900	548.29 60.9%	69	35	63					501	55.7%	644	108	
経済-文	147	900	532.98 59.2%	59	44	62					495	55.0%	667	118	
経済-理	10	900	512.36 56.9%	79	78	65					666	74.0%	764	2	
理学部	196	800	454.93 56.9%	32	50		60	73			446	49.5%	687	14	
医-医	77	950	701.26 73.8%	68	13			59	70		369	40.9%	687	生物23	
				65	78		70	46		538	67.3%	666	地球1		
				73	49			82	68		518	64.8%	726	生物1	
医-医	77	950	701.26 73.8%	70	48		65	80		93	662	66.6%	725	62	
				87	85		93	96		93	852	89.7%	809	1	
医-看護	50	750	429.70 57.3%	57	39		45	31		97	414	55.1%	597	26	
				71	47		60	67		100	268	44.7%	658	1	
医-放射線	25	750	406.64 54.2%	61	8			43	43	87	355	47.3%	571	26	
											224	37.3%			
医-検査	25	750	418.08 55.7%	61	20		42	55		87	390	51.9%	628	16	
											259	43.2%			
歯学部	37	850	423.87 49.9%	平均点より低いデータなし											
薬学部	56	1100	592.62 53.9%	70	58		56	59		88	552	61.3%	644	2	
				58	25		58	71		532	48.4%	627	56		
工学部	567	800	442.96 55.4%	70	19		62	76			562	51.1%	670	36	
				62	25		64	61		387	48.3%	703	材料58		
農学部	105	900	477.61 53.1%	66	32		49	41			429	47.7%	636	102	
				70	18			62	60		447	49.7%	659	76	

医学科、保健学科の下段は面接点を除いた得点（得点率）\*下段赤字はトピック

## 合格最低点（医学部）

大学	日程	①合格最低点（率）（総合）					共通テストがボーダー得点の時の2次最低必要得点率								
							②'22共通テスト		22 2次		③2次最低必要得点率				
		配点	2022		2021	2020	配点	20ボーダー得点率	配点	科目	2022	2021	2020	2019	
弘前	前期	1500	977.0	65.1%	71.2%	78.5%	1000	75.0%	500	総合・面	227.0	45.4%	59.6%	75.8%	72.1%
秋田	前期	950	732.9	77.1%	81.1%	78.5%	550	75.1%	400	英数面	319.9	80.0%	81.2%	77.8%	80.5%
山形	前期	1600	1167.2	73.0%	73.9%	78.6%	900	76.0%	700	英数国理2面	483.2	69.0%	66.1%	72.9%	73.3%
福島医	前期	1310	833.8	63.6%	64.6%	64.4%	650	76.0%	660	英数理2面	339.8	51.5%	49.3%	49.0%	55.3%

①合格最低点（共通テスト+2次試験）が大学公表データ

③2次最低必要得点率 = ① - ②共通テストボーダー得点を 2次配点で割った数字

**上記医学部の模試での2次学力ボーダーラインはほぼ同じ**

**福島県医は医学科専用の問題でやや難しい**

**秋田・山形大学は、多く問題が他学部と共通問題で易し目高得点が必要**

**弘前は21年度から総合問題になり得点率低下**

# 東北地区医学部推薦入試

秋田大学						山形大学			弘前大学				福島県医大学				
一般枠		秋田県枠		全国地域枠						青森県枠		他県枠		県内枠		県外枠	
合格	不合格	合格	不合格	合格	不合格		合格	不合格		合格	不合格	合格	不合格	合格	不合格	合格	不合格
~800						~800			~800					~800			
~790						~790			~790					~790			
~780						~780	1		~780					~780			
~770						~770			~770					~770			
~760						~760			~760					~760	1		
~750						~750			~750	1				~750			
~740						~740	1		~740					~740	2		
~730				1		~730	1		~730	1				~730	2		
~720					1	~720	2		~720	1				~720	1		
~710	1		2	1		~710	3		~710	1				~710			
~700	2		2	1		~700	3		~700					~700	3	1	
~690	1					~690			~690	1				~690	3	1	
~680	2		1			~680	3		~680	1				~680	1		
~670			1			~670	1	2	~670	3	1			~670	2		
~660	1		2	1		~660		1	~660	2				~660			
~650	2		3			~650		3	~650	5				~650	3		
~640		1	2			~640		3	~640	4				~640	5		
~630	1	1	1	1		~630		1	~630	5	1	2		~630	5	3	1
~620	2		3	2		~620		4	~620	3	1			~620	2	2	1
~610	1		1	5		~610		3	~610	2	1		1	~610	1	4	
~600		1	2	3		~600		1	~600		5			~600		3	
~590		1	1	4		~590			~590	1	3	1	1	~590		2	
~580						~580		2	~580		2		1	~580			
~570		1		4		~570		4	~570	1	2	1	1	~570		2	
569~		2		15		569~		3	569~		21		1	569~		18	1

河合塾ヒアリング調査結果

## 難関大に求められる学力

- ◆ **教科書の正確な知識・技能と読解力を土台とした思考力・判断力・表現力（活用力）が問われる** 「試験問題の内容は、高校教育において達成を目指すものと軌を一にしている。**知識を詰め込むことよりも、持っている知識を関連づけて解を導く能力の高さを重視**します（東京大学アドミッションポリシー）」

①教科書の理解と定着＝正確な知識・技能 の徹底

②**典型・標準問題への対応**（教科書の内容を多様な角度から問われたり、複雑な組み合わせ…どこかでやったような問題では稀で、初めて取り組む問題…その場で自分で考える力を見る）

- 中学の時のように、**定期試験の高得点を当たり前**に…授業に集中する姿勢、普段から計画的な学習など…難関大に合格する基本姿勢が醸成
- **模試を通して（全国のライバルを知り）課題発見と対策**…平均の高い問題は高得点か？同じ大学学部を目指す人との学力差は？など
- 教科書レベルの問題を**速く正確**にできるよう徹底…活用力の源になる
- 時間をかけても自力で正解にたどり着く学習姿勢が大切。解けない問題を手易に答えを見て覚えようとする人は、実戦力は身に付き難い。**考えたり、悩んだりしている過程で知識や考え方が整理・体系化され活用力が高まる**

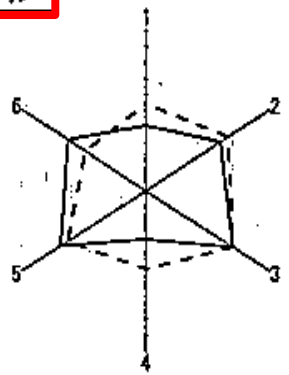
## 模試は練習試合。結果に一喜一憂しない

模試の狙いは、全国のライバルを知り、現在の課題を見つけ、今後どのように学習を進めるべきか具体的に考え、実行に移すこと

### 模試チェック①

### 成績表の確認ポイント

## 2 設問別成績

設問番号	内容	あなたの 得点 / 配点	全国 平均点	校内 平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較				第1志望校の 一段階上の判定者 との成績比較	
					平均点	差	得点率の差	設問別バランス(得点率) —あなた— ……同レベル	平均点	差
英語	1 リスニング	8 / 20	7.8	7.4	10.7	-2.7	-13.5%	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">Aレベル</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px;">7</div> 	10.0	-2.0
	2 語い・熟語	12 / 20	10.0	10.8	13.2	-1.2	-6.0%		12.0	0.0
	3 文法	14 / 20	9.8	11.1	14.0	0.0	0.0%		12.0	2.0
	4 英作文	12 / 40	9.2	11.0	19.5	-7.5 ▲	-18.8%		30.0	-18.0
	5 長文総合読解	41 / 60	24.1	28.4	37.8	3.2	5.3%		56.0	-15.0
	6 長文総合読解	25 / 40	14.8	15.8	19.4	5.6 ○	14.0%		20.0	5.0
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold; border-radius: 50%; padding: 10px;">8</div>										

テレビやラジオの初心者向け英語講座を見たり聴いたりして、英語を耳にする機会を持ちましょう。

● あなたと同じ学力層との比較

● 第一志望で、評価が一段上の判定者との比較

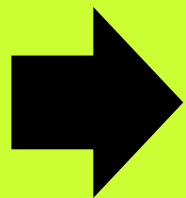
➤ 模試のチェック② 復習のポイントは

「知識・考え方」の定着レベルを大きく4段階に分けると、

- A 直ぐ方針が立ち、想定時間内で解答できた (30点)
- B 想定より時間はかかったが解答できた (20点)
- C 解答できそうだと思ったが、時間内に解答できなかった  
しかし、正解を見たらすぐ納得した (30点)
- D 全く手がつかなかった。正解を見てもすぐ理解できない (20点)

伸び悩む人の復習は

Dの問題に注力し B Cレベルの問題をAのレベルまで高める努力をしていない場合が多い。B Cレベルの問題がAのレベルになればそれだけで合格点になる場合が多い



まずはB Cレベルの問題をAのレベルに仕上げることに注力。そのうえでDに対応する

## 模試のチェック③

## 偏差値が高い（できる）生徒は

設問	配点	全国 平均点	偏差値60 の平均点	偏差値70 の平均点
1	50	30	40	48
2	50	20	27	37
3	50	10	13	15
	150	60	80	100

模試（本番）で差がつくのは、真面目に学習しておけばできるような「**知識問題**」か「**典型問題**」。成績のいい生徒は、そういった問題を確実に点数に結びつける（ミスをしない）。意識して訓練をしている。だから「できる」といわれる。

## ▶ 模試のチェック④ 入試は一定時間枠での戦い

基本標準問題の解答スピードが合否を分ける

設問	配点	全国 平均点	不合格		合格	
			得点	解答時間	得点	解答時間
1	50	35	50	30分	50	20分
2	50	30	50	30分	50	25分
3	50	10	15	30分	20	45分
計	150	75	115	90分	120	90分

見かけは難しい問題で得点差がついているが、成績が良い生徒は確実に解けそうな問題を速く正確に解けるように訓練している



## 保護者として心得ておきたいこと

- 中学と高校では理解・覚える質量が格段に違う⇒中学のように学習が順調に進むことは稀。多くが思い通り進まない、不安やストレスを抱えている。失敗や挫折を繰り返し、どうすればうまくいくか工夫・改善を繰り返すから成長する
- やる気があるから学習（行動）するのではなく、学習（行動）するからやる気が出る。「できる・できた」が増えるとやる気が高まる。先ずは行動する
- 「わからない」「できない」にも階層がある。漠然と悩んだり、不安がったりするのではなく、具体的に考える姿勢を涵養したい
- 成果を焦らない。継続するから成果が出る
- わからないとすぐ答えを見たり、人に聞いて自分の頭を使おうとしない生徒は難関大は厳しい。本番は初見の問題に対応。自分で解決する姿勢を大切に
- 「嫌なことを先送りする傾向」があれば、改善するよう促したい。苦手科目は早期に克服を
- 1,2年は、学年末（2月）の模試を本番と位置付けてこれからの学習計画を考えさせたい

## 国立大学協会の基本方針（2022年1月公表）

### 共通テスト

- 新教科「情報」を含む **6教科8科目を原則課す**
- 経過措置問題を含む「情報Ⅰ」の活用方法等については、各大学が速やかに大学HPで公表

### 一般選抜（個別試験）

- 論理的思考力・判断力・表現力評価のため **高度な記述式試験**を課す
- 学力試験では測れない能力・態度をより適切に評価するため、**調査書や志願者本人が記載する資料、面接等の活用を促進**

### 総合型・学校推薦型選抜

- 引き続き「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するため、**一定の学力を担保した上で、調査書等の出願書類に加えて小論文・面接などの多様な評価方法を活用し、丁寧な入学者選抜の取り組みを加速・拡大する**

### 総合的な英語力（読む・書く・聞く・話す）評価

- 各大学のアドミッション・ポリシーに基づき、**様々な方法で総合的な英語力を評価する**  
民間の資格・検定試験活用の際には、受験機会の公平性・公正性の確保について配慮

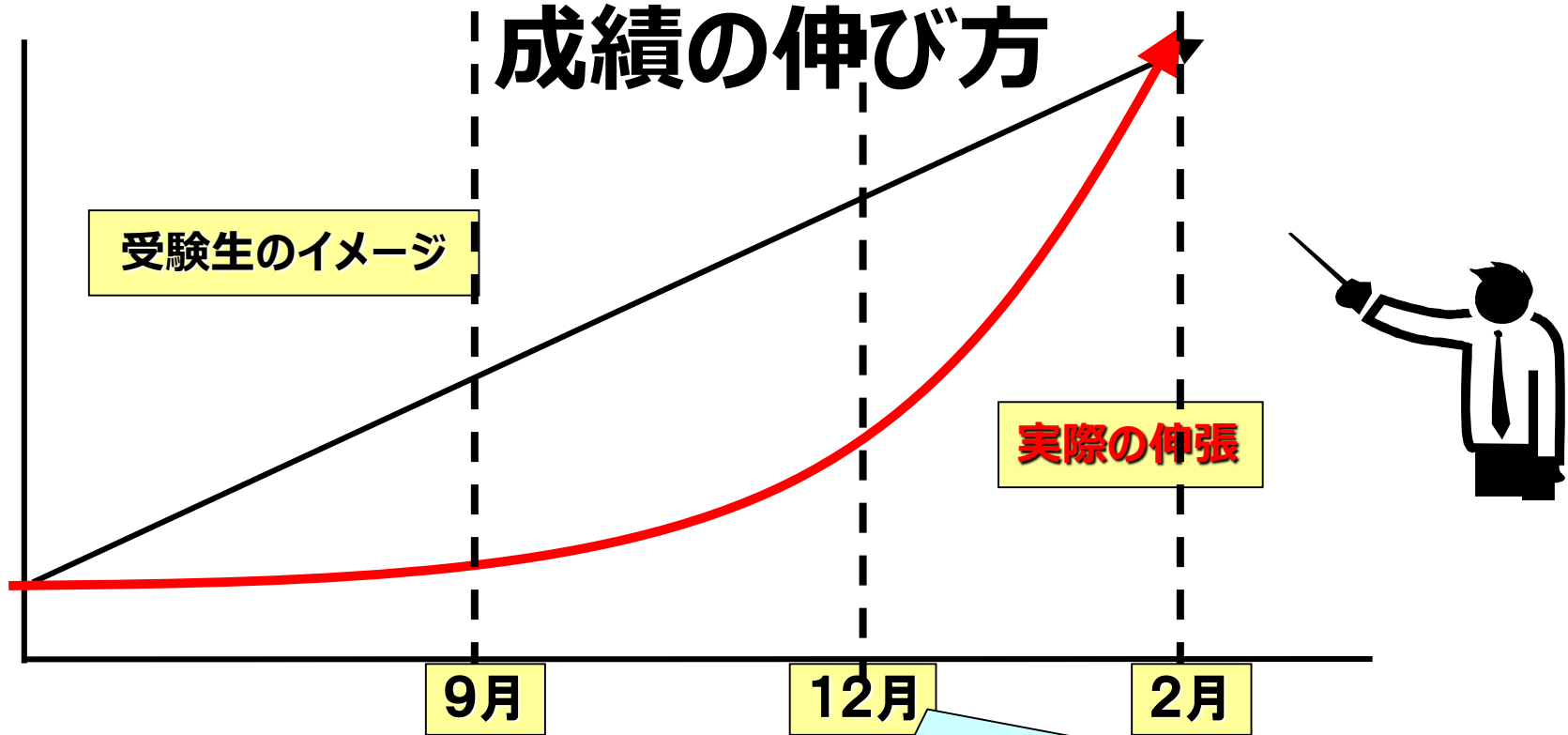
全統模試から見た合否状況

大学・学部・学科	定員	項目	総合偏差値											合計 人数	平均 偏差値			
			~44.9	45.0~	47.5~	50.0~	52.5~	55.0~	57.5~	60.0~	62.5~	65.0~	67.5~			70.0~		
青山学院	180	合格	5	3	2	8	20	45	52	54	39	31	15	9	283	60.2		
経済		不合格	147	116	123	172	190	169	114	74	30	16	8	2	1161	52.4		
個別A		合格率%	3	3	2	4	10	21	31	42	57	66	65	82				
			12%							71%								

**合格者283名中135名（47.7%）がE判定から合格している。E判定が最も多い。**

**直前期に学力は一気に伸びるから、模試では、A B判定は少数しか出していない。模試の判定だけで受験校を下げると、最後の伸びを掴んでしまうことにもなる。安易な妥協は一生後悔する。**

## 成績の伸び方



定期試験とは異なり一定量の知識・技能が定着し、活用力が高まらないと数字に表れない。また知識・技能が増加し、活用力が高まれば高まるほど、解答スピード・正答率も上がる。その結果、同じ時間でこなせる問題量が増えるから、直前期に学力が伸びる。

## 一言アドバイス ～受験生の保護者の方へ～

- ◆ 子どもの力を信じる気持ちと頑張っているときの励ましの声掛けがあると子供も前向きになれると思います。マイナスな言葉はできるだけ少ない方がいいと思うので、ぜひ頑張ってもらいたいです
- ◆ とにかく、最後まで諦めないで。子どもが挫けそうになっても「大丈夫」と常に前向きな声掛けをしていた。モチベーションが続かない時も「少し休んだ方が頭がスッキリするから」と伝えていた。本人だけでなく、家族全員の体調管理が大切だと思います
- ◆ 口を出しすぎるのはよくないと思いますが、時には発破をかけることも必要だったと反省しています。お子さんにあったやる気の出し方を考えるのが大事かと思っています
- ◆ 子どもの合格を知ったとき、改めて子どもの限界は親が決めるものではないなと、とても反省しました。皆さんも信じた道を歩まれているご子息を「信じ切って」下さい。結果は子どもが必ず持って帰ってきます
- ◆ 子どもを信じること、それが一番難しいけれど一番大切だと思います。親が不安な時、本人はもっと不安なのかもしれません。そんな時こそあえて笑顔を作りました。「笑う門には福来たる」
- ◆ 子どもの可能性を信じて、とにかくポジティブな声掛けをしてください。受験の厳しさは本人が一番痛感しています。最後まで、親子であきらめず頑張ってください

## 我が子が「成長したな」と感じること

- ◆ 受験が終わったとき、「今まで本当にありがとう」とお礼を言われ、家の手伝いなども積極的にするようになった。不合格だった友達との関係を見ても、思いやりを持った言動ができていて成長を感じた
- ◆ 単純に学力が上がったという点で成長しただけでなく、不安や不満、苦しみに対する感情のコントロールが上手くなった。何より将来を真剣に考えて決断し手続きを進め、親任せにせず、自分自身のことなんだと自覚できたことが大きな成長だと思う
- ◆ 難しいことや困難な事柄に向き合って、前を向ける精神力がついて成長を感じた
- ◆ 時間の使い方や計画的に行動することを意識できるようになった
- ◆ 第一志望合格に向けた強い意思や努力。合格するために今何をすべきかを自分で考えて行動したことに成長を感じる
- ◆ 人任せにせず自分でやるようになった。自信がつき、自分の力がどのくらいあるのかチャレンジするようになった
- ◆ 自己分析をして、向き不向きを見極める力が付いた。目標に向かってぶれずに努力する力、欲に負けない精神力が付いた
- ◆ 自分の立場や意見を論理的にしっかり表現できるようになった

## 受験生の保護者として（河合塾保護者アンケートより）

## 受験生から保護者の方への要望は

- ◆ 自分の志望を尊重してほしい
- ◆ 模試の結果に一喜一憂しないでほしい。一方的に怒らないでほしい
- ◆ 普段どおりでいい
- ◆ 変に気を遣わないでほしい
- ◆ 時々励ましてほしい
- ◆ 精神面でサポートしてほしい

## 親に言われてやる気を失った言葉

- ・あなたのためを思って言っているのだからね
- ・今、勉強しないで後悔するのはあなたなんだからね
- ・兄弟（姉妹）でどうしてこんなに違うの  
お兄ちゃんは、自分から机に向かったよ
- ・もっと早くから本気で勉強するように言ったのに
- ・お母さん（お父さん）が受験生のころはもっと勉強したよ
- ・今まで遊んでいたのに受かるわけないでしょう  
こんな成績で本当に受かるの
- ・一体 あなたのためにいくら払うと思っているのよ  
お金をどぶに捨てるようなものよ

## 受験期に保護者に感謝したこと（言葉）うれしかった言葉

- 「あなたの第一志望を受けなさい。そうしないと絶対後悔するよ」
- 「あなたの人生なんだから 思った通りにしなさい。できる限りのサポートをするから」
- 「今やっている努力は必ず実るから」
- 「お前は我が家の財産なんだから お金ことは気にしなくていい」
- 模試で結果が悪かったとき「本番で頑張ればいいのよ」と見守ってくれた
- 毎朝早く起きて 弁当を作ってくれた
- スランプに陥ったときに、励ましや応援の言葉を言ってくれて、救われたし頑張ろうという気になった
- 志望校の選択や模試の結果について口を挟まず、信じてくれた



## 大学生の実態

前京都大学、高等教育研究開発推進センター 溝上慎一 教授

## 大学で成長する学生の特徴

- 主体的に学ぶ力が高い（授業外学習も積極的 色々な事にチャレンジ）
- 豊かな対人関係や活動性がある  
（交遊やサークル活動に積極的 学びの中に他者がいる 他者と協働できる）
- 高いキャリア意識を持って生活  
（将来や目標に向かって、何が重要であるかを意味づけて 学習や日常生活を充実）

➤ 大学で成長する学生は、卒業後も上手くやっている。ところが、大学で教育改革を進めても、「主体的に学ぶ力」「豊かな対人関係や活動性」「キャリア意識」は少なくとも大学4年間では変わらない、変えることは難しい。

ex) 高校時、あまり勉強（読書）をしない学生は、大学生になっても勉強（読書）しない。高校時、協働が苦手な学生は、大学生になっても変わらない



高校までの学び方や意識・生活を変える必要あり⇒大学入試を変えないと高校での学びや意識・生活も変わらない⇒大学入学者選抜改革へ



## 受験がゴールではない・・・親が目標を下げない

- 社会に出れば（人生）は思い通りにいかないこと、「苦勞を重ねる」ことが当たり前に求められ、ストレスを感じることも多い。日本社会は、今後厳しくなることは必然。しかし、無理をしない若者、させない親も増加。特に地方の生徒は失敗や傷つくことを恐れているのか、「無理をして上を目指すことをせず、そこそこの結果で良し」と考えている人が増加。難しいところを目指せば、当然その努力も大きくなり耐性が付く。結果が大切なのではなく、無理をする経験、人より努力する経験が成長を促す。先が見えない時代だからこそ、高校生活・受験を通して大きく成長させたい
- 高校時代に身につけたい力
  - ◆ **課題・問題に主体的に向き合う力**  
(どうすれば目標が達成できるか、主体的に考えて行動できる力)
  - ◆ **困難を乗り越えていこうとする力 不安やストレスに対処できる力**
  - ◆ **コミュニケーション力** (意思疎通が上手く行っていない人と上手くやる力)
  - ◆ **自己肯定感** (自分は少々困難なことでもやれる 周りから信頼・信用されているという自信)
- **親が目標を下げない。「高い目標を持つから伸びる」ことを常に意識。**現役生は直前期に伸びる。共通テストまで第一志望を貫かせる。本当の戦いは入試直前3か月。目先の結果に一喜一憂せず、子供が辛そうにしているときは成長しているときだと捉え見守りたい。3年間で驚くほど子供は大きく成長します

**第一志望現役合格を祈念いたします**

# 新しい春が来た やるしかない

大学生 櫻井 つぐみ な意味を実感した。

(山口県 18)

人生で、自分の夢に向かい言葉がある。「やるしかない」の6文字だ。受験期にその一つが受験期だ。それは単に、合格に挑むだけの時期ではないと、大学受験を終えた今思う。理想と現実を見つめ目標を立てる練習の場であり、いろんな自分や信頼できる関係性に気づく時でもあるだろう。

頑張った。おめでとう。大丈夫。多くの言葉が教室や家庭で飛び交った。その中で、言葉がもつ力や多様

私の心に特に残る大切な言葉がある。「やるしかない」の6文字だ。受験期に何度もかけてもらい、原動力に、厳しさに、安心にと、多様な意味に変化して寄り添ってくれた。とても前向きで優しい言葉だ。誰かを思っていてかける言葉は鮮やかな光を放ち、誰かを動かす力となる。そんな力に触れ、日々の会話が輝く。新しい春が始まった。私らしく、楽しんで進んでいきたい。やるしかない!!

## 学習を促進させる工夫

### ➤ 学習する科目・内容の順番を考える

EX・得意科目と苦手科目 ・インプットとアウトプット（新しい知識の習得と復習的な知識の確認・思考力を要する内容と単純な内容） 作業的な暗記は短時間集中（間をあけて繰り返す）

### ➤ 定期的に場所を変えて気分を切り替える

教室、自習室、図書館…校舎内での場所を変えるだけでも効果が大きい

### ➤ 定期的に時間を決めて休憩・気分転換

- ・頭を休めること（スマホ・テレビなど視覚情報が多いものは脳のリセットには効果薄）
- ・軽く体を動かす

### ➤ オンからオフへ切り替えるタイミングの工夫

「やり切った」という気持ちを持った後で集中し直すのは難しい。集中力が完全に切れる前に、一旦休んで勉強を再開（30%と80%を繰り返してゆっくり歩み続ける感覚）

### ➤ 小さな目標設定をし、達成感をモチベーションに

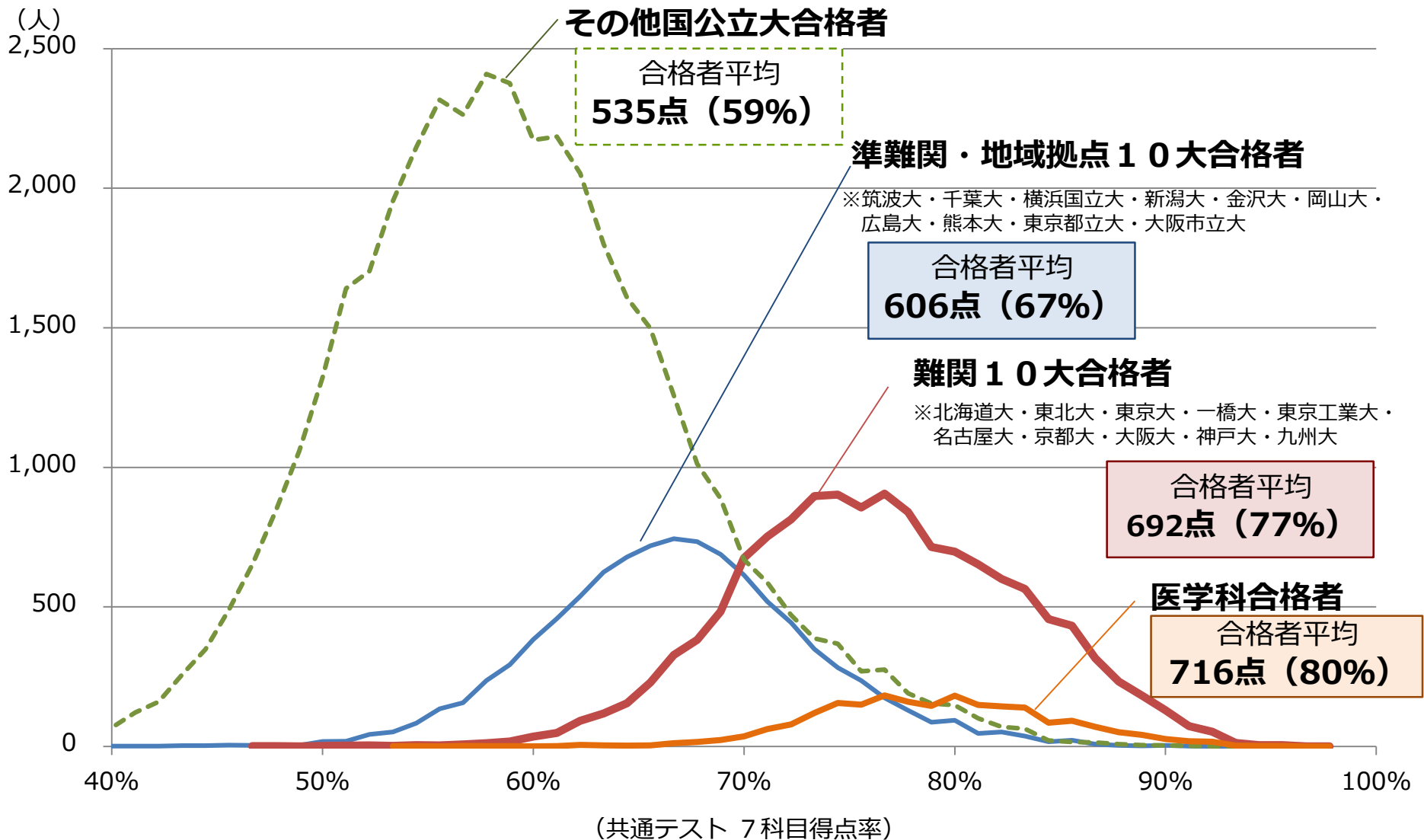
毎日やるべきことをリストアップ→そのリストをチェックすることが楽しみになって継続できるように。また、何にどれくらいの時間がかかるかを把握→学習計画を無理なく立てられるようになる

### ➤ 自分なりのルールを作る

EX・自習室に最後まで残れたら勝ち・やるべき教材すべて机に積み、終えたものからしまう

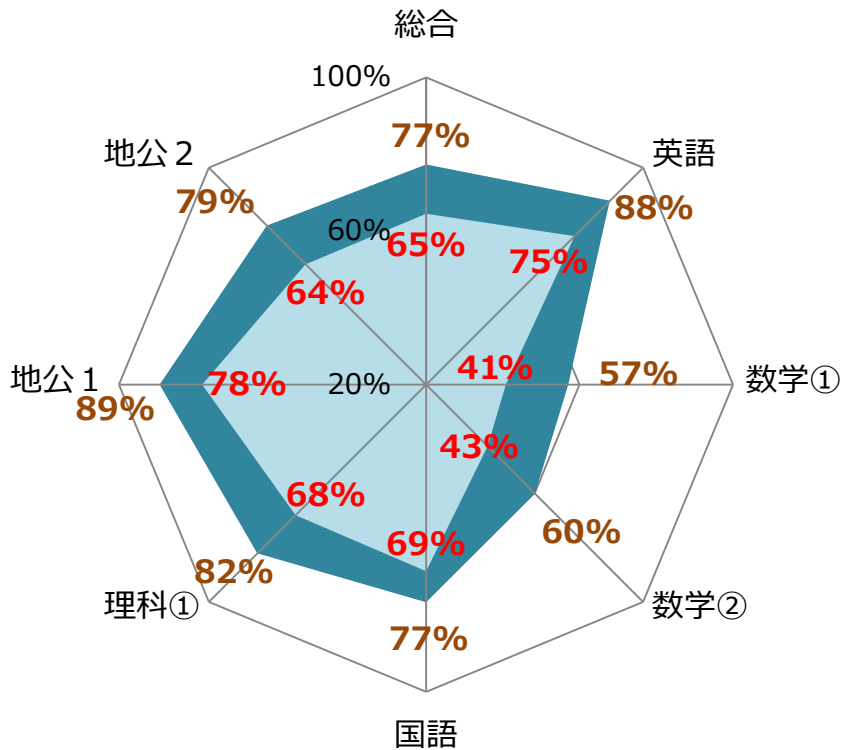
### ➤ その他：ストップウォッチ・付箋の活用 友達と競い教え合う

# 国公立大合格者の学力層(大学グループ別)



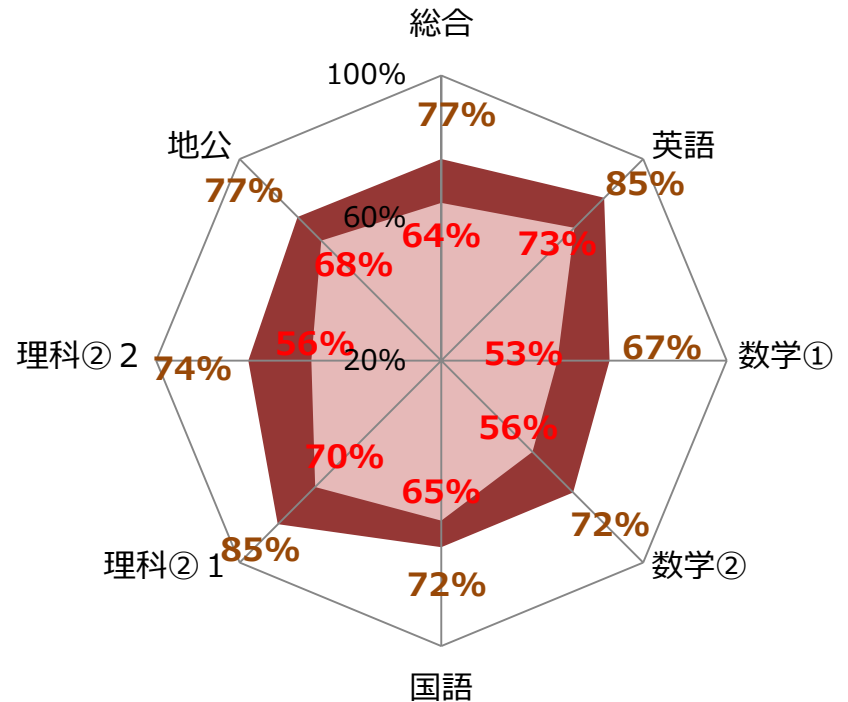
# 国公立大合格者 共通テスト教科別平均点

## 文系



■ 難関10大合格者    ■ 全国公立大合格者

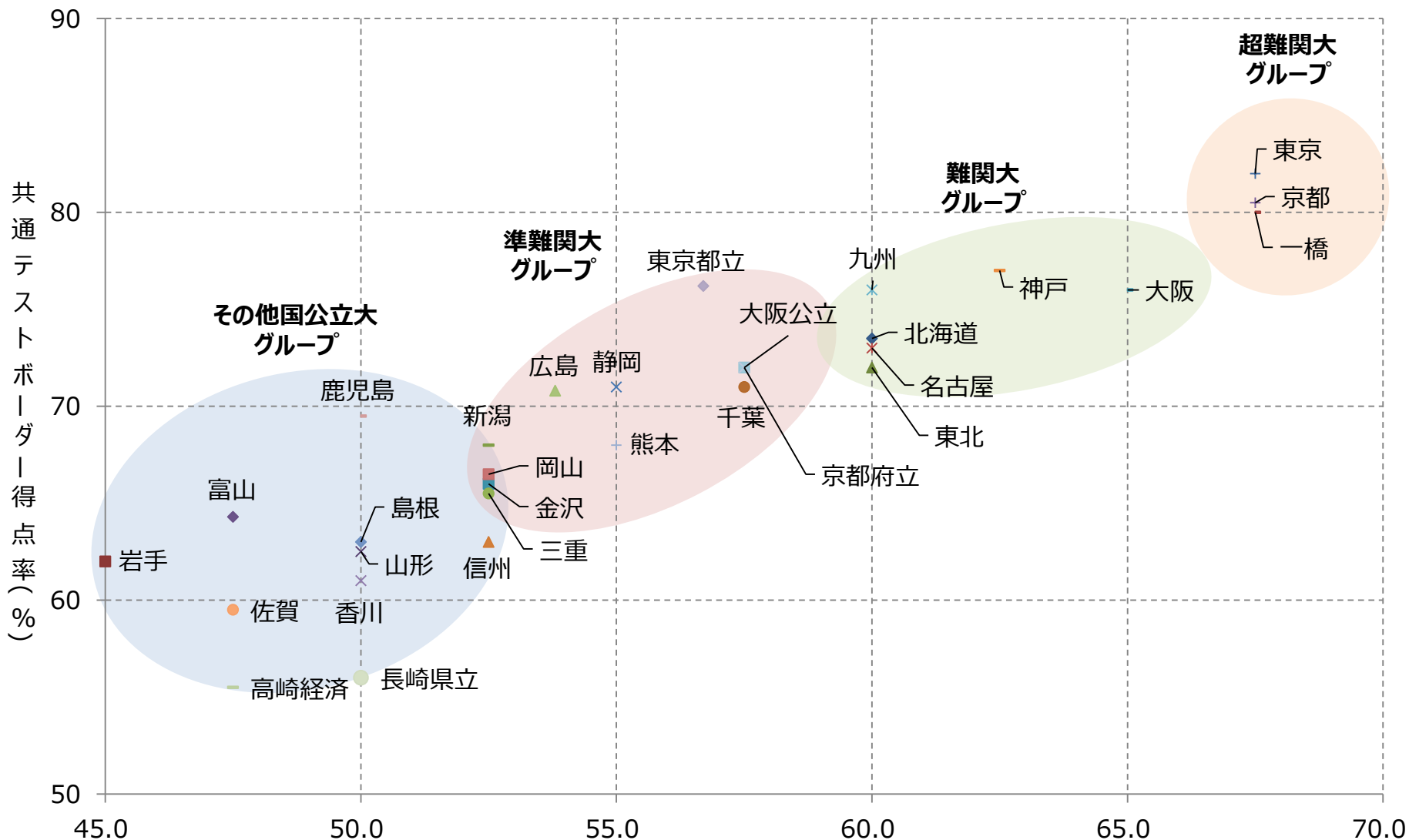
## 理系



■ 難関10大合格者    ■ 全国公立大合格者

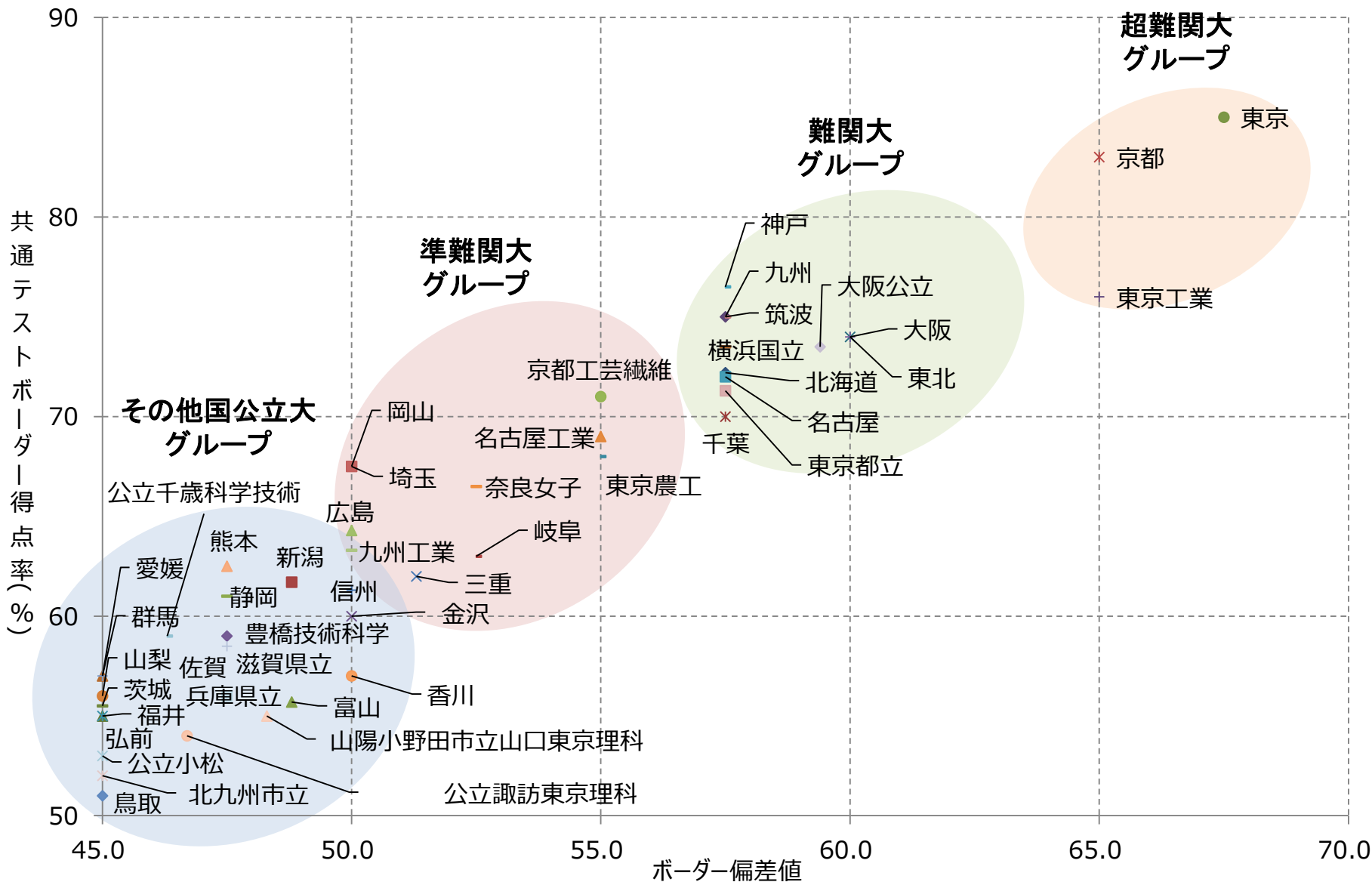
※河合塾「2022入試結果調査データ」より    ※難関10大学：旧帝大（東大・京大・阪大・北大・東北大・名大・九大）＋一橋大・東工大・神戸大  
 ※文系は文系7科目型、理系は理系7科目型受験生を対象に集計

# 国公立大法学系 難易ランキング表



※ボーダーは2022年度前期日程のもの（学部内に複数学科ある場合は平均を算出して利用）

# 国公立大工学(機械)系 難易ランキング表



※ボーダーは2022年度前期日程のもの（学部内に複数学科ある場合は平均を算出して利用）



## 共通テストー出題教科・科目は7教科21科目

教科	出題科目	試験時間	教科	出題科目	試験時間
国語	「国語」	90分	数学	① 「数学Ⅰ, 数学A」 「数学Ⅰ」	1科目選択 70分
地理 歴史	「地理総合, 地理探究」 「歴史総合, 日本史探究」 「歴史総合, 世界史探究」	1科目60分 2科目130分 (解答時間120分)		② 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」* *数学B・数学Cについては、各2項目出題のうち 3項目を選択解答	70分
公民	「地理総合, 歴史総合, 公共」* *いずれか2科目の内容を選択解答 「公共, 倫理」 「公共, 政治・経済」		6科目から 最大2科目選択 ただし公民2科目の組 合せ、「地理総合, 歴史 総合, 公共」で選択した 科目と同一名称を含む 科目の組合せ不可	理科	「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎」* *いずれか2科目の内容を選択解答
外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	1科目選択 英語は別時間帯で ICプレイヤーを使用する 試験を実施			
情報	「情報Ⅰ」	新設	60分		

「数学Ⅱ」がなくなり、「数学Ⅱ・B」にCが加わり1科目に

必修修科目を含む6選択科目へ

各科目の時間割は2024年6月頃に公表予定